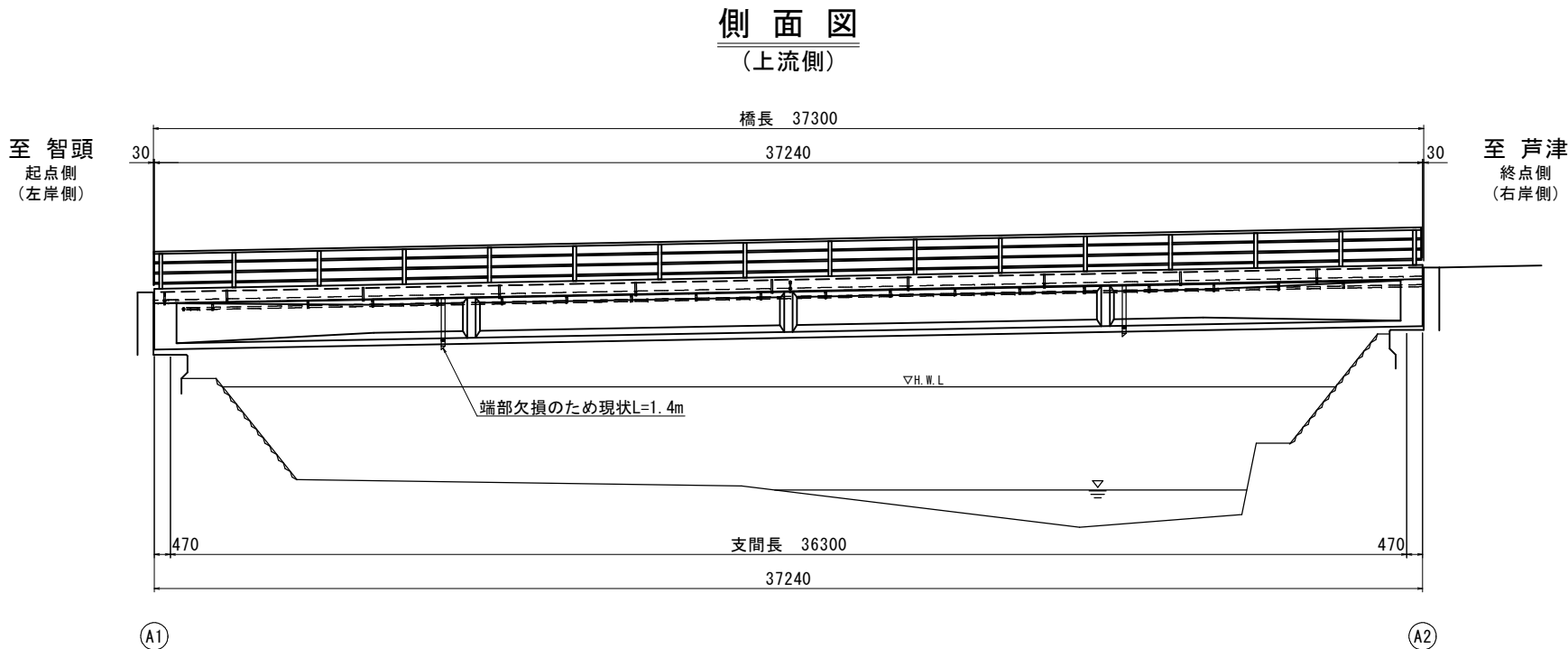
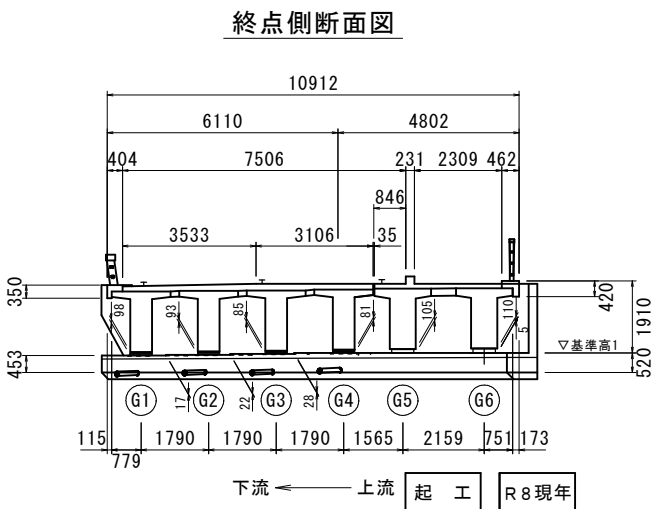
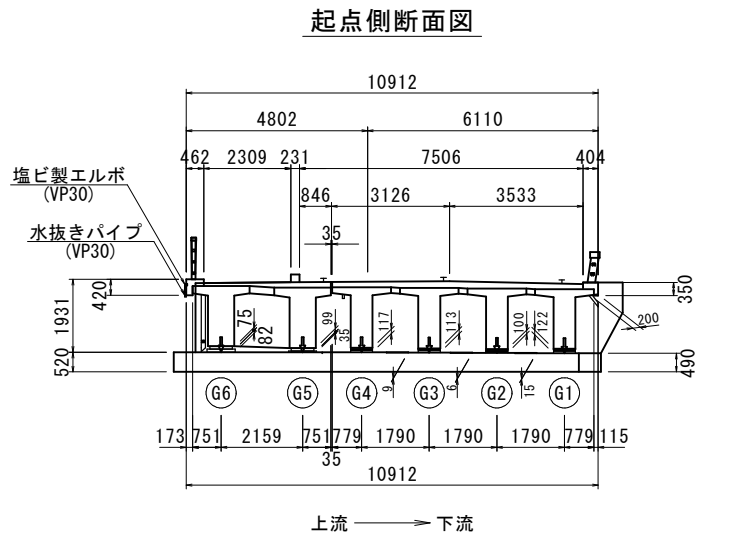
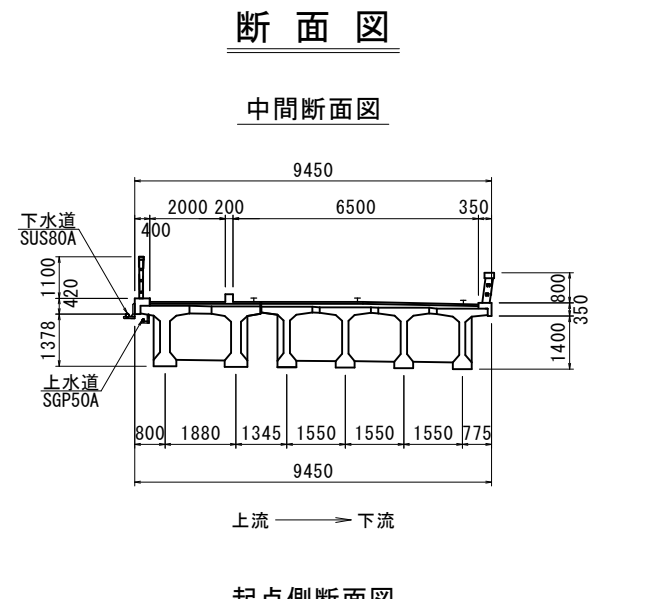
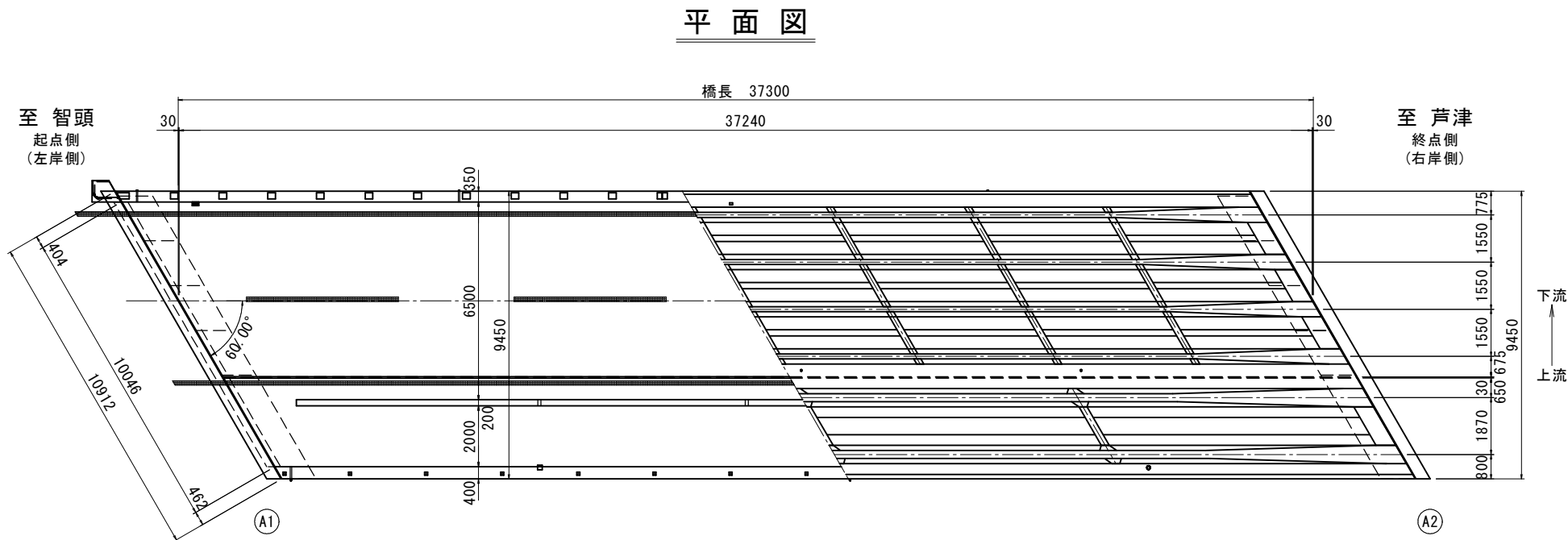
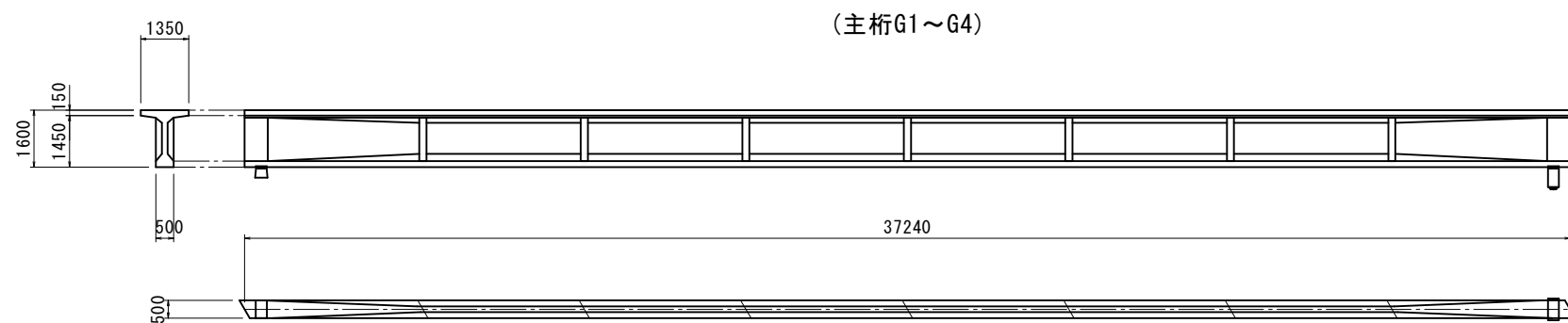




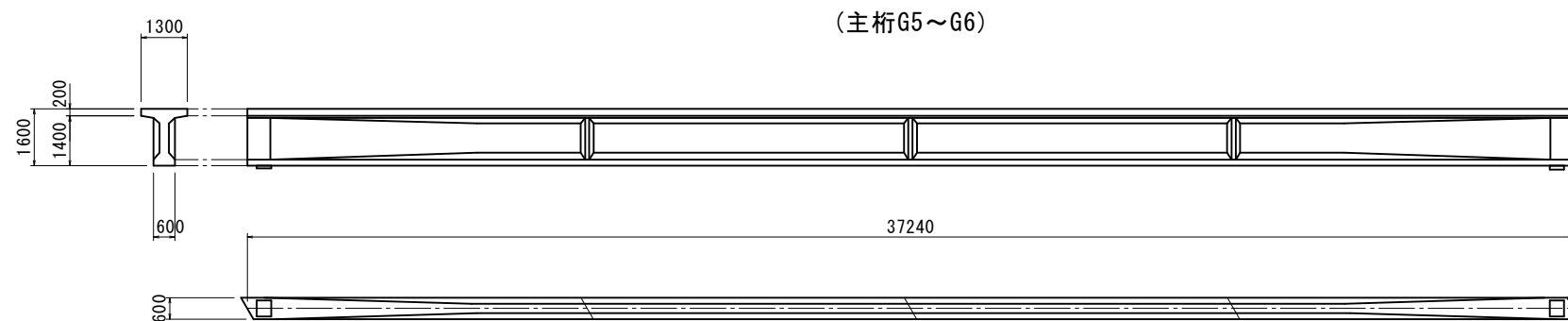
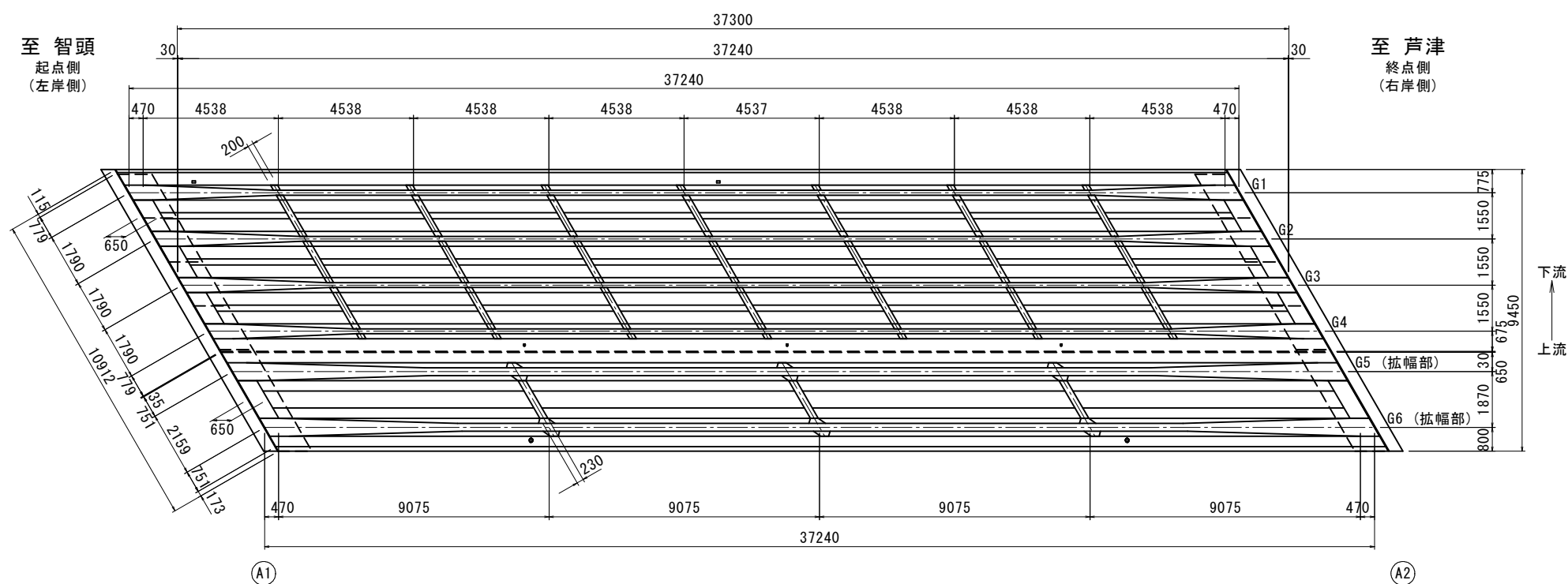
[注記]
・形状寸法は、既往図書によるものではなく、限りなく近接して形状を測定し作図したものである。したがって、事前に現地を再確認(実測)し、必要に応じて適宜修正を行うこと。

設計条件	
路線名	主要地方道 津山智頭八東線
架設年次	1964年 (昭和39年)
橋長	37.3 m
幅員	全幅:9.45m (有効幅員:8.70m)
交差条件	一級河川千代川水系 北股川
上部工形式	ポストテンション方式単純T桁橋
下部工形式	
A1橋台	逆T式橋台
A2橋台	逆T式橋台
基礎	直接基礎

路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	橋梁一般図（1/4）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	1:100	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 1		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

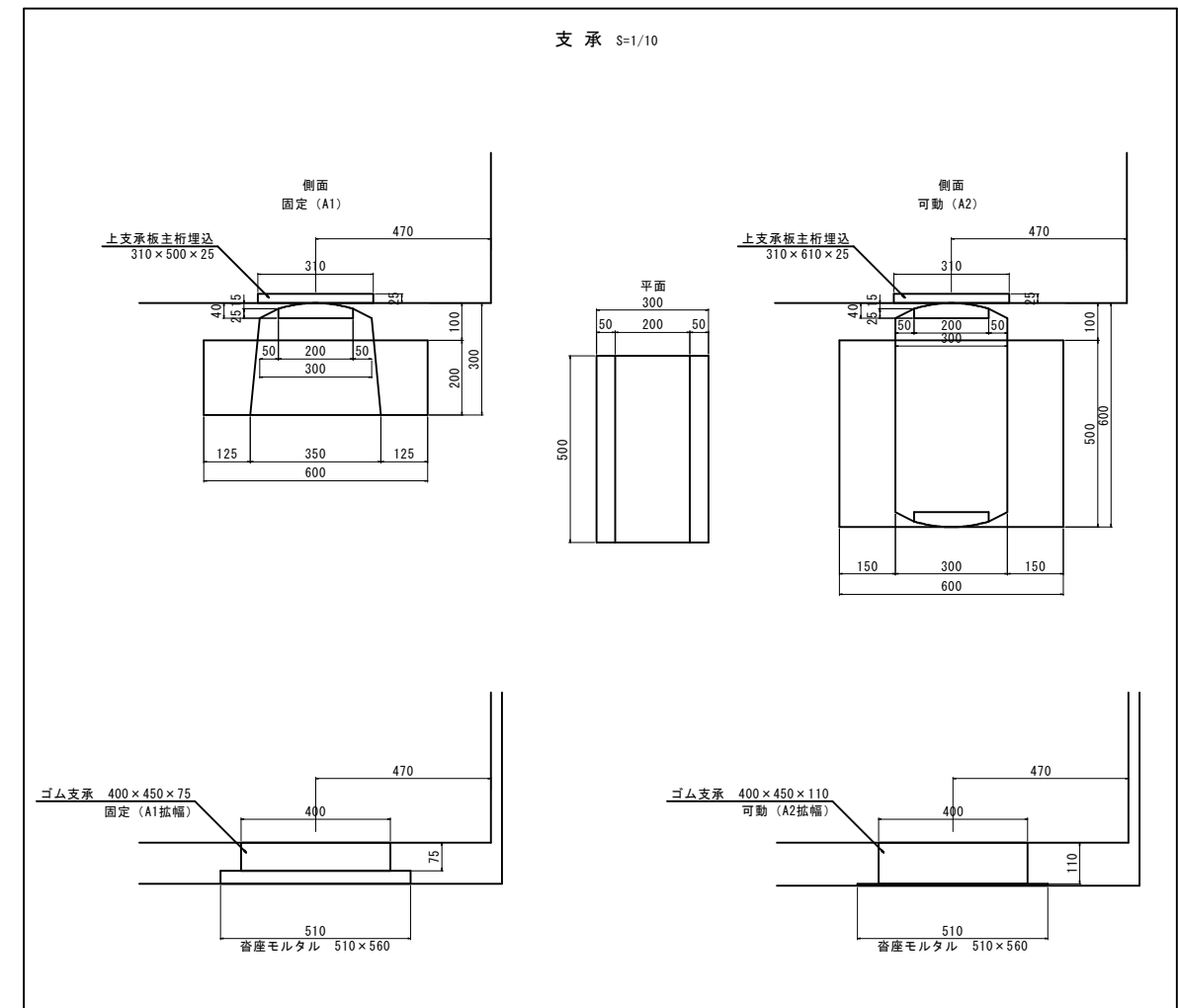
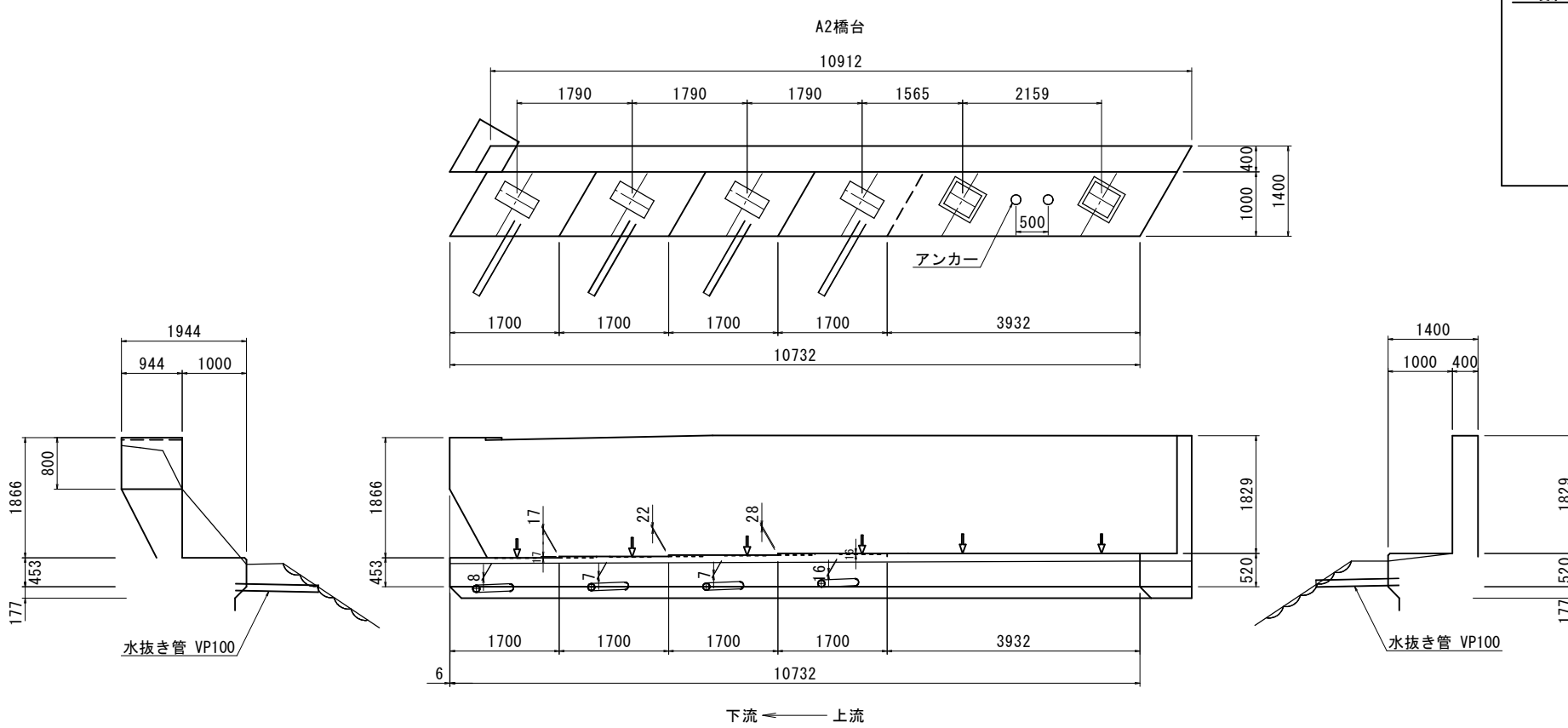
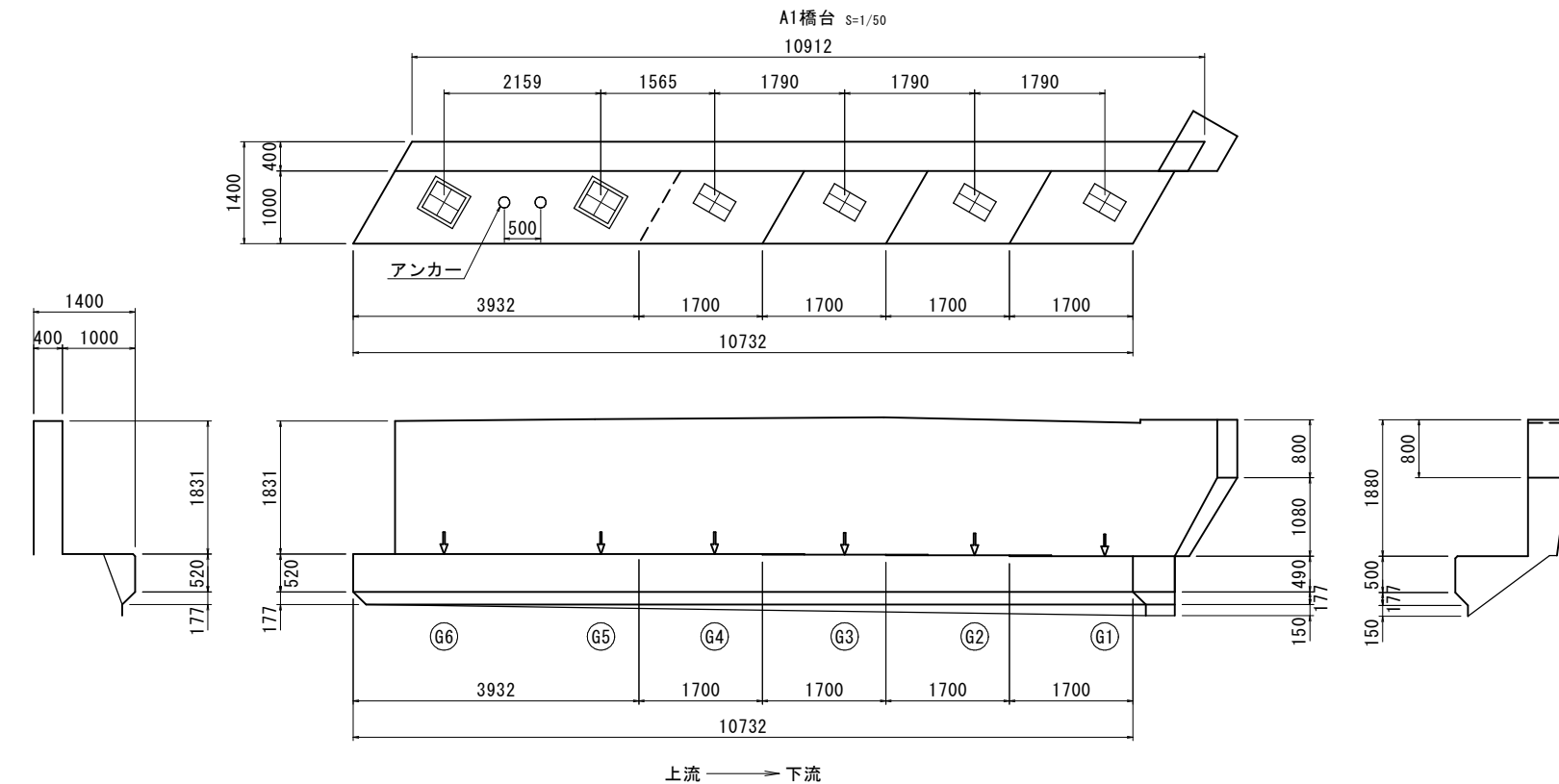


桁下平面図



起 工	R 8 現年
-----	--------

路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	橋梁一般図（2/4）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	1：100	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 2		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			



起 工	R 8 現年
路線名	県道津山智頭八東線
橋梁補修工事 (大呂橋)	
図 名	橋梁一般図 (3/4)
位 置	八頭郡智頭町大呂
縮 尺	図示 単 位 MM
図 号	全 17 葉中の内 3
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所	

S=1 : 00

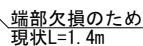


S=1:00



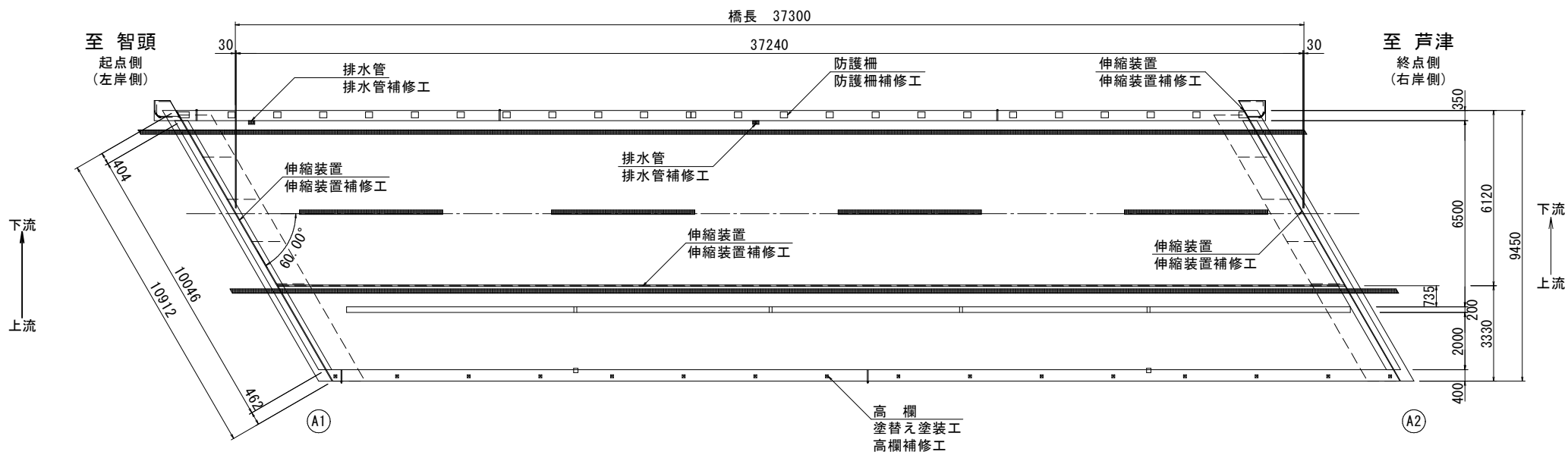
S=1 : 50

下 流 側

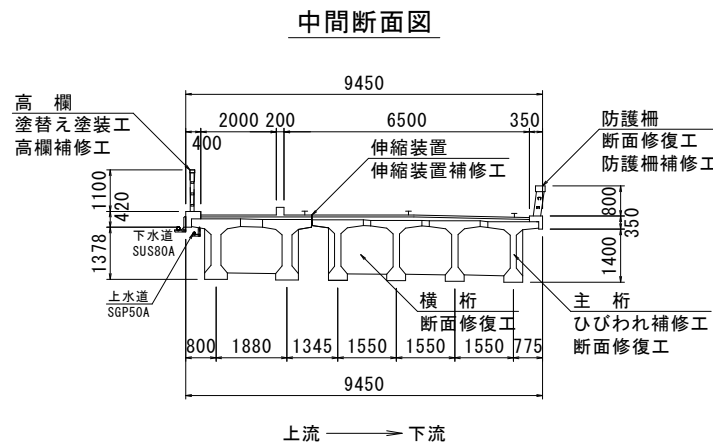


起 工	R8 現年		
路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	橋梁一般図（4/4）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 4		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

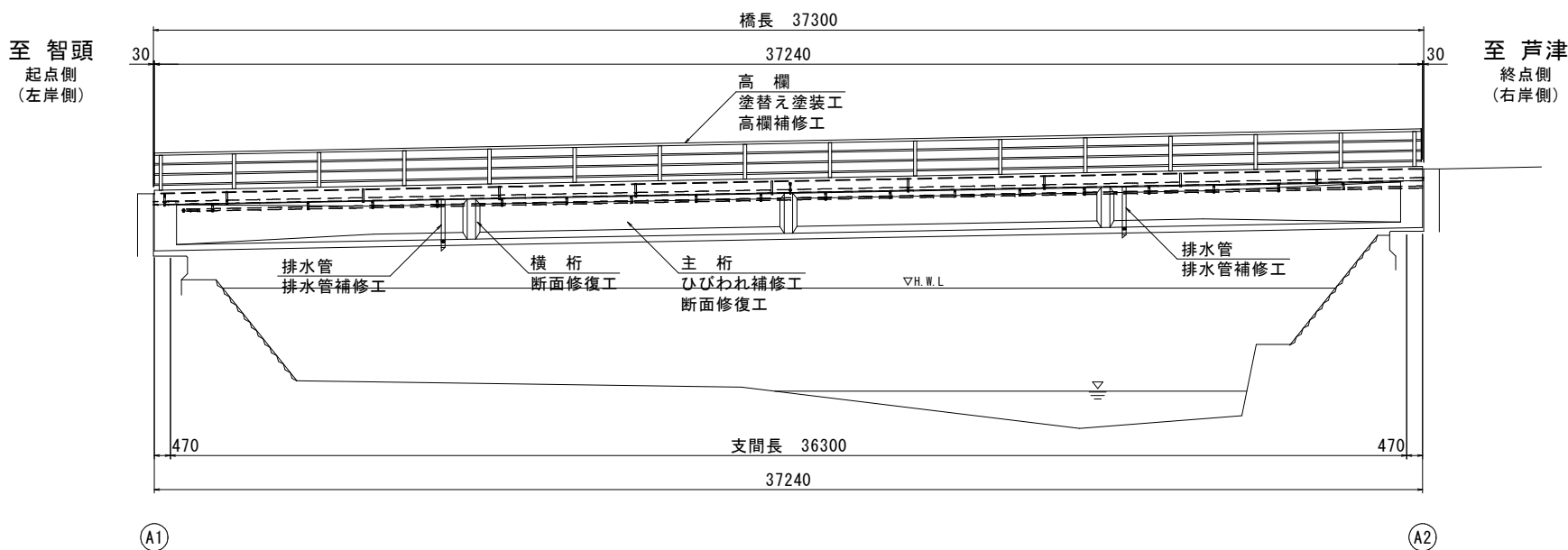
平面図



断面図



側面図
(上流側)



補修項目一覧

部位・部材		種 別	細別 (工法)	規 格	備 考
上部工	主 桁	ひびわれ補修工	ひび割れ注入工法	エポキシ樹脂注入材 (1種)	
		断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	
	横 桁	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	
下部工	橋 台	ひびわれ補修工	ひび割れ注入工法	エポキシ樹脂注入材 (1種)	
		断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	
支承部	支承本体	支承防錆補修工	防水型錆進行抑制塗装工法	クリスタルジュエリー工法同等品以上	鋼製支承、ゴム支承
		支承補修工		ポリブタジエン系弾性シール材	ゴム支承
路 上	伸縮装置	伸縮装置補修工	部分補修	弾性合材 (ファルコンSJ-FE同等品以上)	
	地覆、縦ゾイント	伸縮装置補修工	シール材補修	KFシールテクトYKB-J工法同等品以上	
	防 護 柵	高欄補修工	紫外線硬化型FRP補修工	ウルトラパッチ同等品以上	
	高 欄	塗替え塗装工	錆転換型防食塗装工法	タイタンコート工法同等品以上	
		高欄補修工	紫外線硬化型FRP補修工	ウルトラパッチ同等品以上	
	排 水 管	排水管補修工	排水管補修工	塩ビ管VP125	上流側排水管 (丸型)
			排水管取替工	ステンレス製排水管	下流側排水管 (四角型)

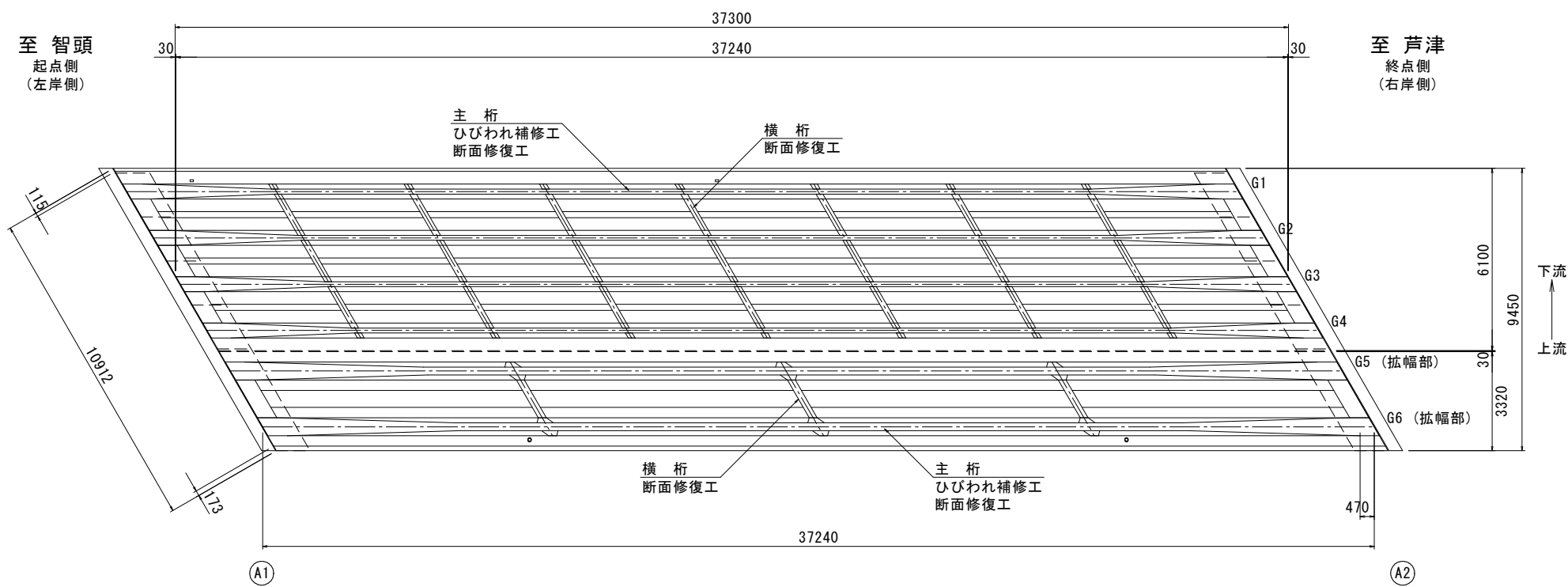
起 工 R 8 現 年

路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修一般図（1/3）		
位 置	八頭郡智頭町智頭		
縮 尺	1:100	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 5		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

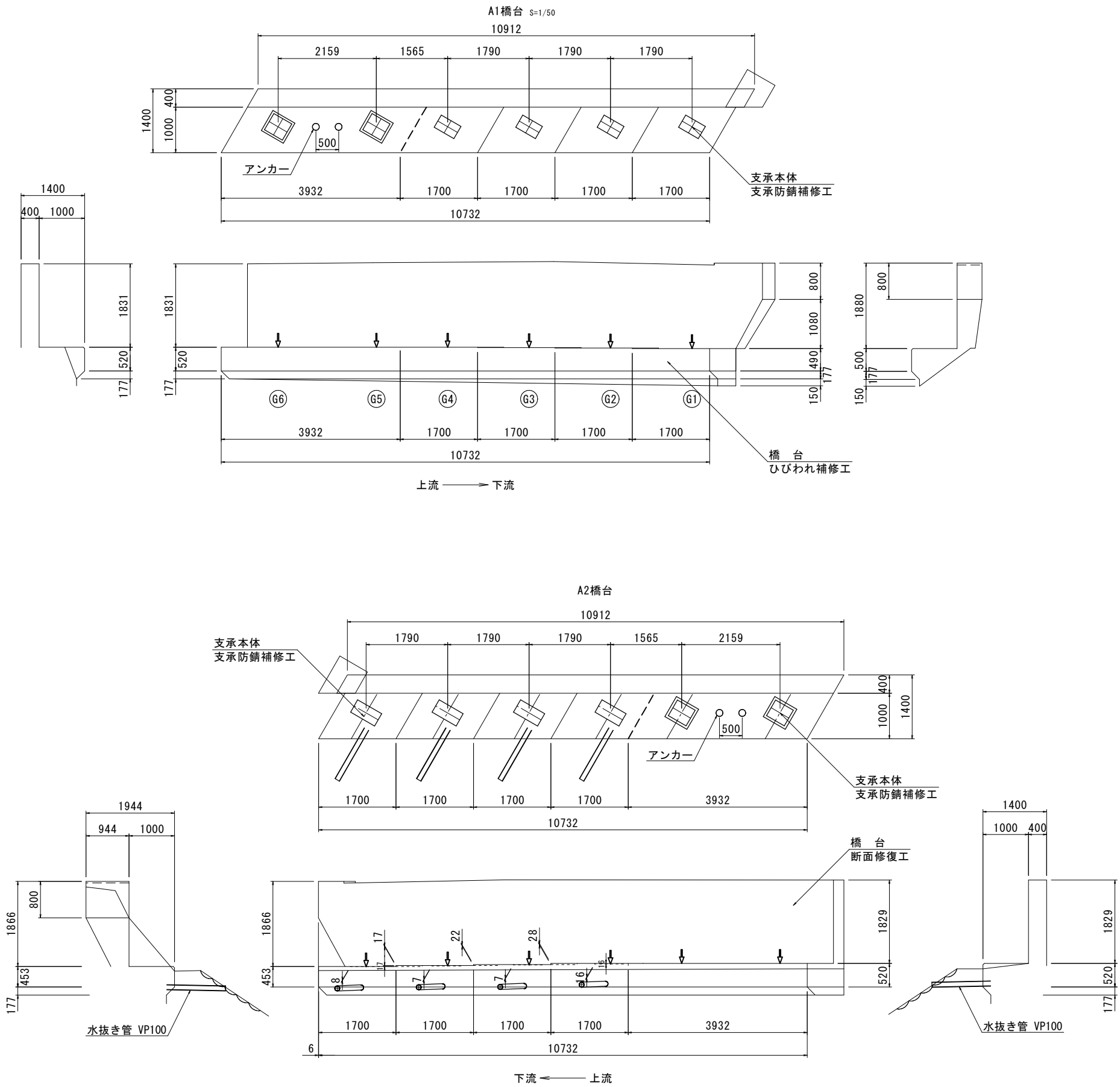
設 計 条 件	
路 線 名	主要地方道 津山智頭八東線
架設年次	1964年 (昭和39年)
橋 長	37.3 m
幅 員	全幅:9.45m (有効幅員:8.70m)
交差条件	一級河川千代川水系 北段川
上部工形式	ポストテンション方式単純T桁橋
下部工形式	
A1橋台	逆T式橋台
A2橋台	逆T式橋台
基 礎	直接基礎

[注記]
・形状寸法は、既往図書によるものではなく、限りなく近接して形状を測定し作図したものである。したがって、事前に現地を再確認 (実測) し、必要に応じて適宜修正を行うこと。

桁下平面図



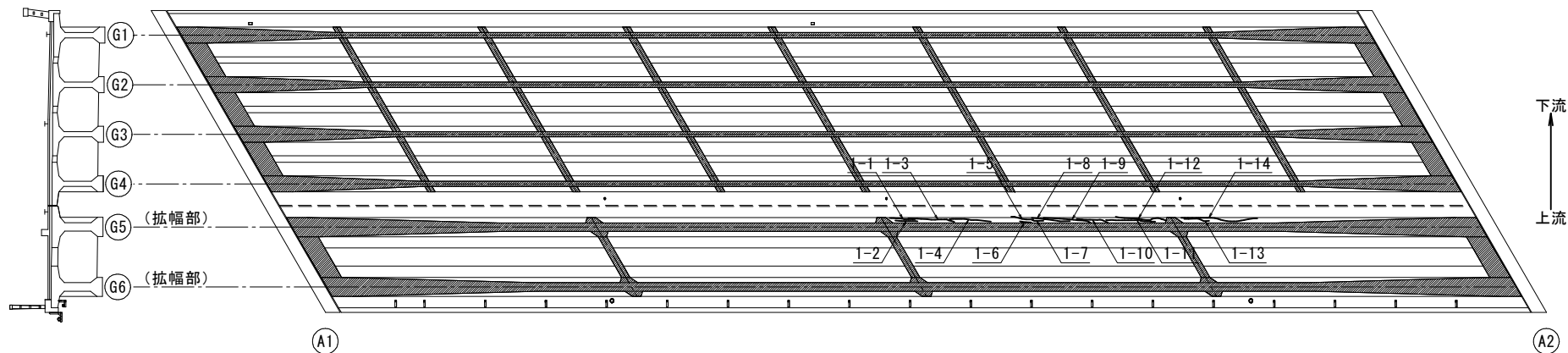
起 工	R 8 現年		
路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修一般図（2/3）		
位 置	八頭郡智頭町智頭		
縮 尺	1：100	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 6		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			



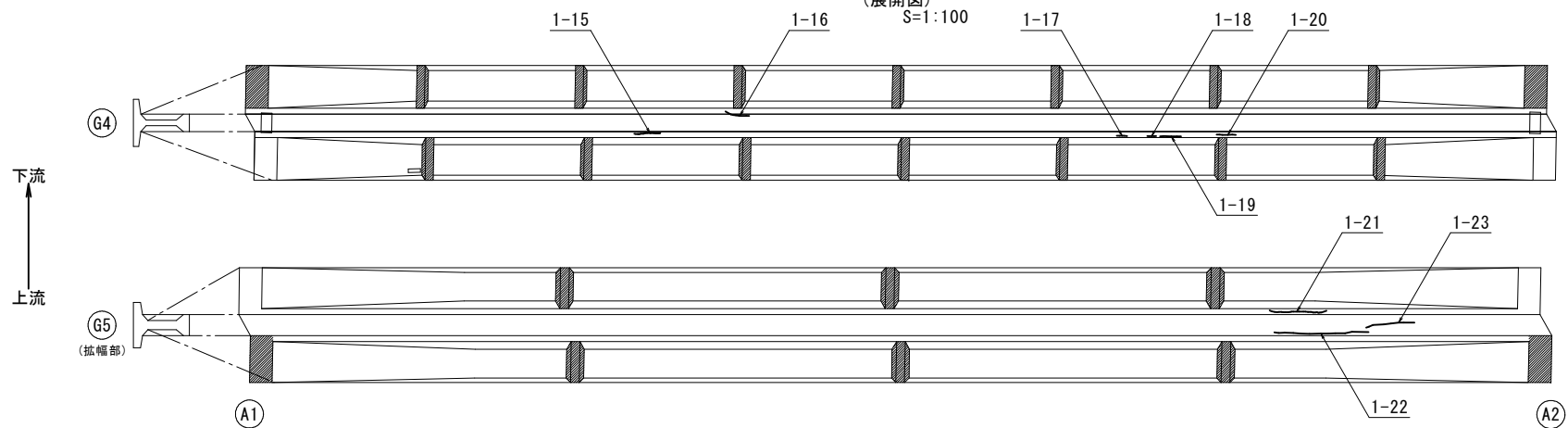
起 工	R8 現年		
路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修一般図（3/3）		
位 置	八頭郡智頭町智頭		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 7		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

ひび割れ補修工
(低圧注入工法)

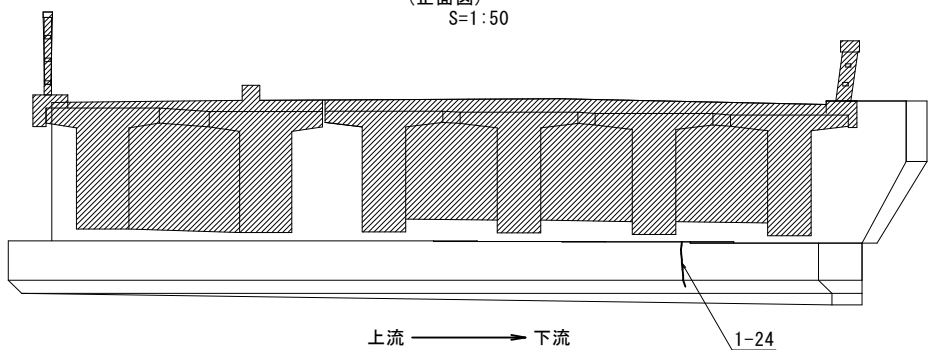
主 桁
(桁下平面図)
S=1:100



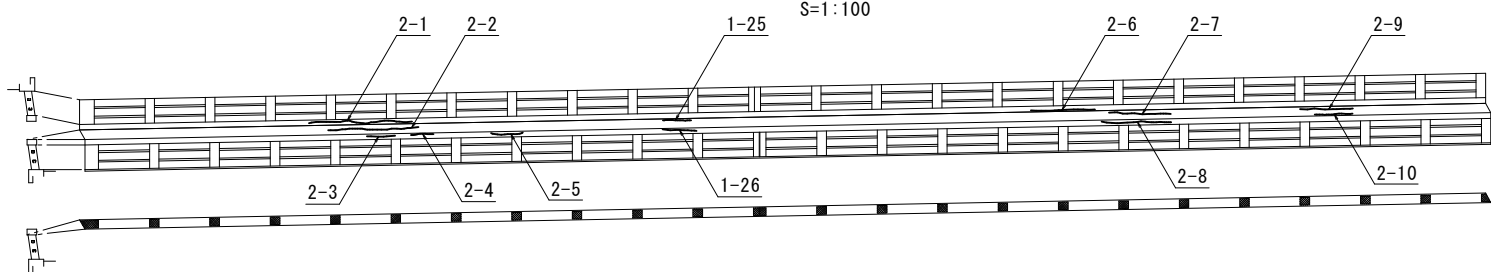
主 桁
(展開図)
S=1:100



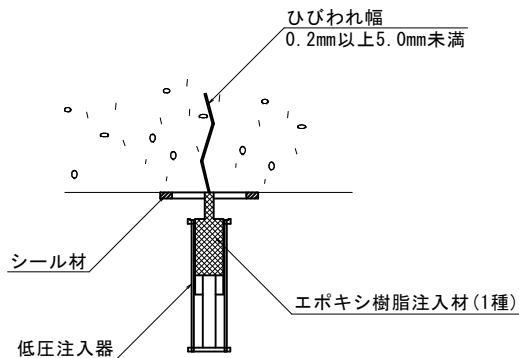
A2 橋 台
(正面図)
S=1:50



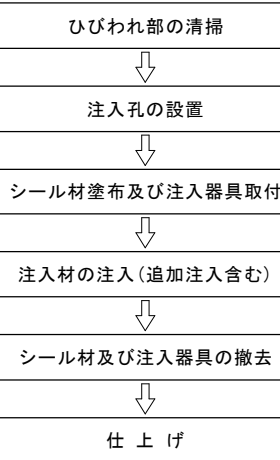
防 護 柵
(展開図)
S=1:100



低圧注入工法
NonScale



施工手順フロー(参考)



【注記】

- ・施工に先立ち、コンクリート表面の析出物、ほこり等をサンダーケレン、高圧洗浄などで十分に除去する。
- ・遊離石灰を伴うひびわれは、ひびわれ部分が遊離石灰で閉塞しているため、補修対象外とする。
- ・ひび割れ幅5.0mm未満であっても、ひび割れが背後まで貫通している場合は充填工法を用いることとする。

(ひび割れ幅0.2～0.5mm未満)

箇 所	長さ (m)	箇 所	長さ (m)
主 桁		主 桁	
1- 1	0.80	1-18	0.25
1- 2	0.70	1-19	0.60
1- 3	1.45	1-20	0.55
1- 4	1.30	1-21	1.65
1- 5	0.70	1-22	2.70
1- 6	0.35	1-23	1.40
1- 7	0.35	小 計	24.60
1- 8	1.20		
1- 9	1.50	A2橋台	
1-10	1.00	1-24	0.60
1-11	1.55	小 計	0.60
1-12	1.60		
1-13	0.80	防 護 柵	
1-14	2.40	1-25	0.75
1-15	0.75	1-26	0.90
1-16	0.70	小 計	1.65
1-17	0.30		
合 計			26.85

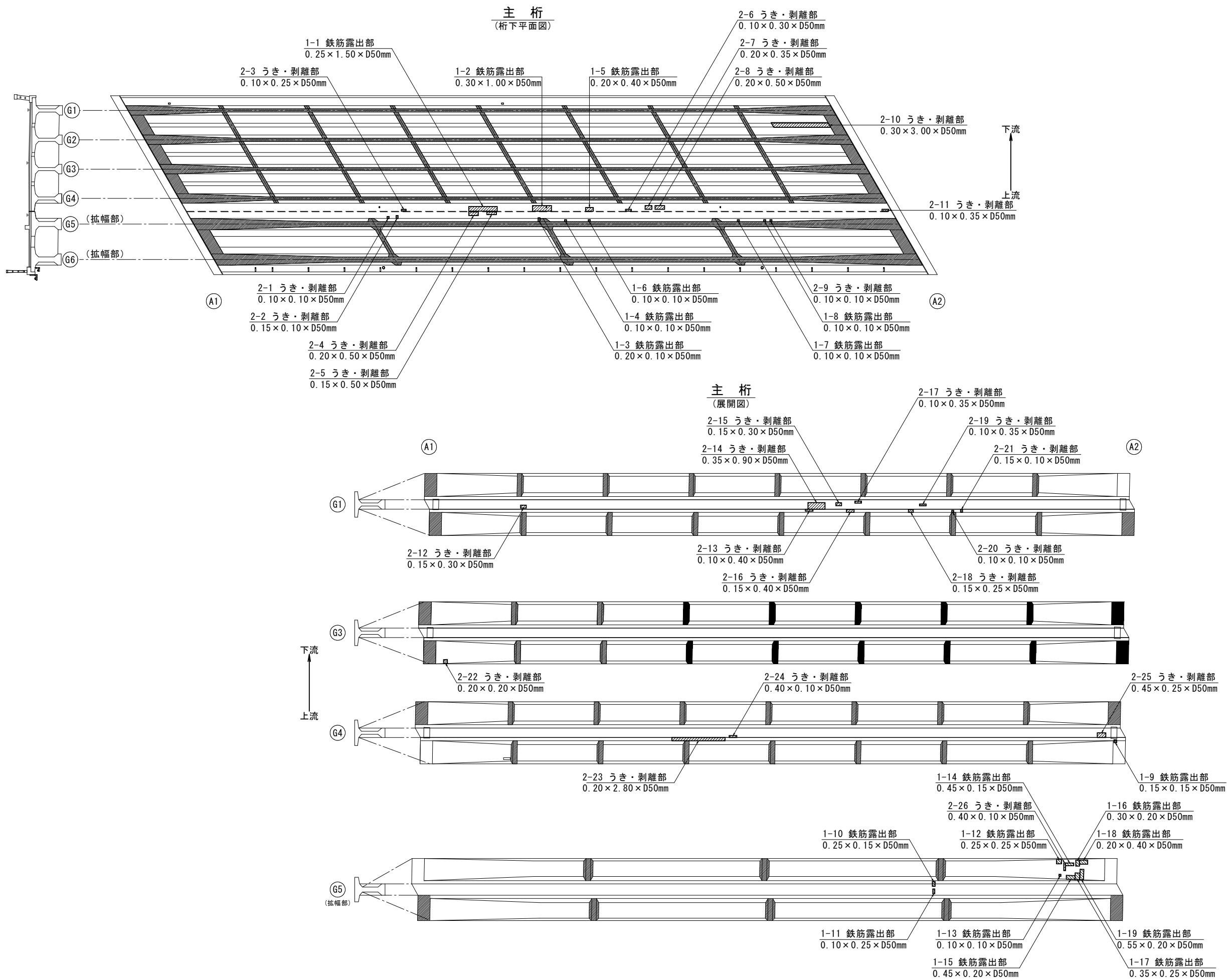
(ひび割れ幅0.5～1.0mm未満)

箇 所	長さ (m)
防 護 柵	
2- 1	2.75
2- 2	2.40
2- 3	0.75
2- 4	0.60
2- 5	0.85
2- 6	1.70
2- 7	1.65
2- 8	1.85
2- 9	1.40
2-10	1.00
合 計	14.95

起 工 R 8 現 年

路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修計画図（1/10）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	1:100	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 8		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

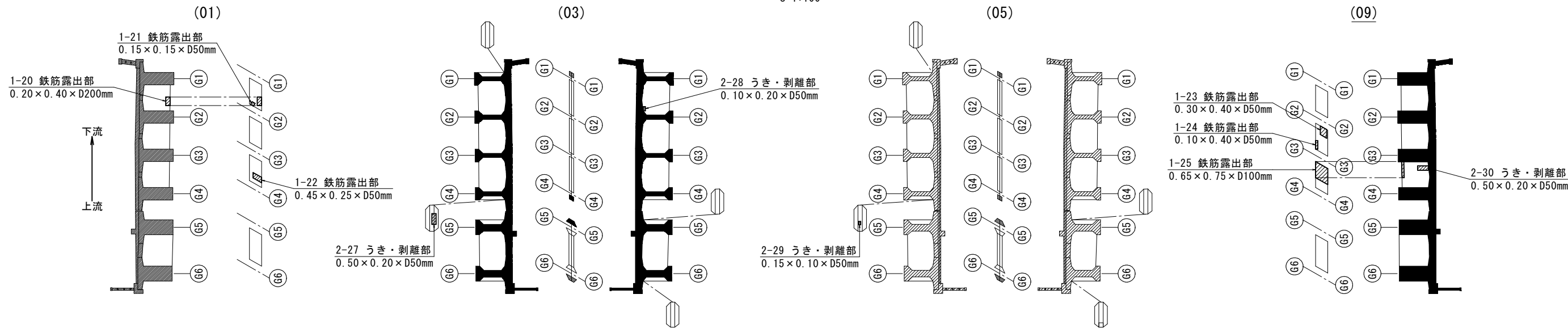
断面修復工
(左官工法)



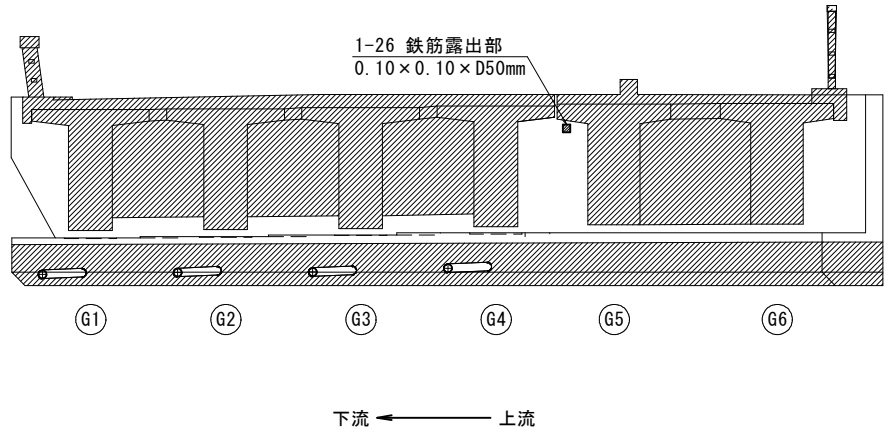
起 工		R 8 現年	
路線名		県道津山智頭八東線	
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名		補修計画図（2/10）	
位 置		八頭郡智頭町大呂	
縮 尺		1：100	単 位 MM
図 号		全 17 葉中の内 9	
令和 8 年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

断面修復工
(左官工法)

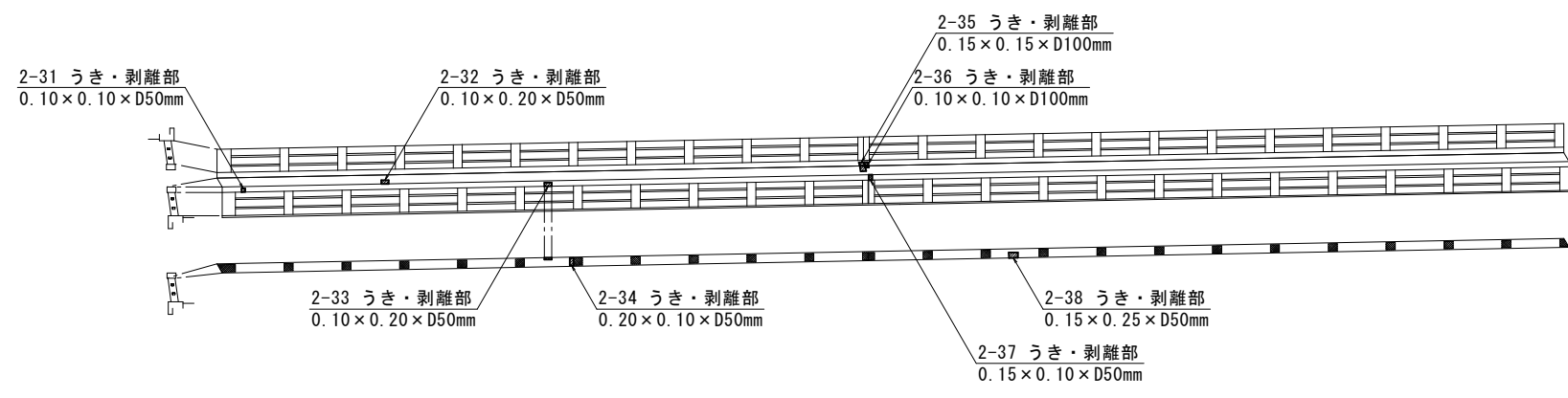
横 桁
(展開図)
S=1:100



A2 橋 台
(正面図)
S=1:50



防 護 柵
(展開図)
S=1:100

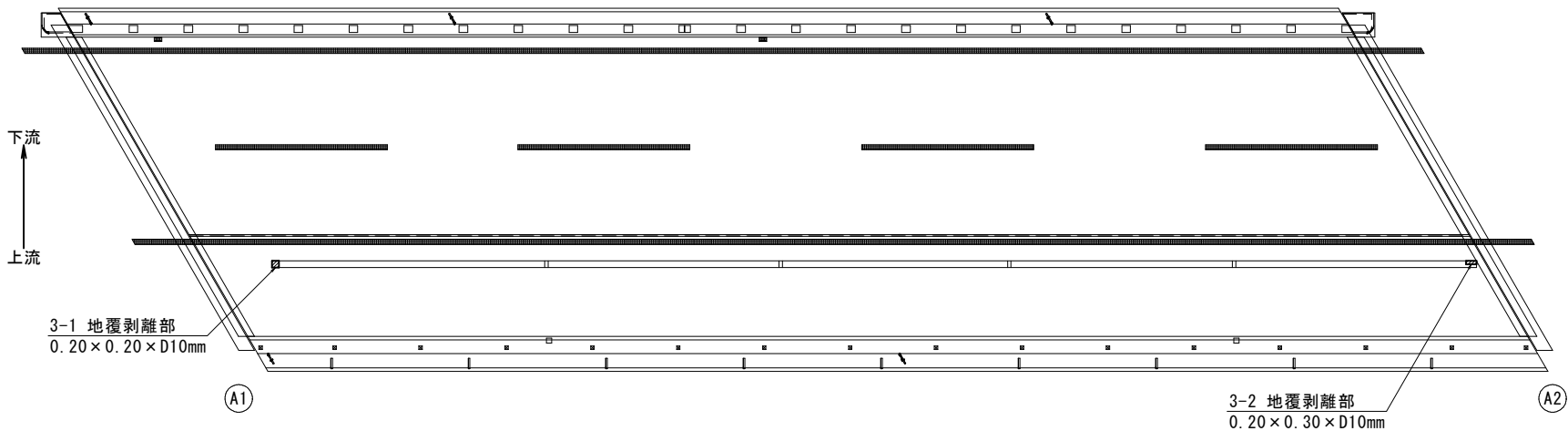


起 工	R 8 現年		
路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修計画図（3/10）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 10		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

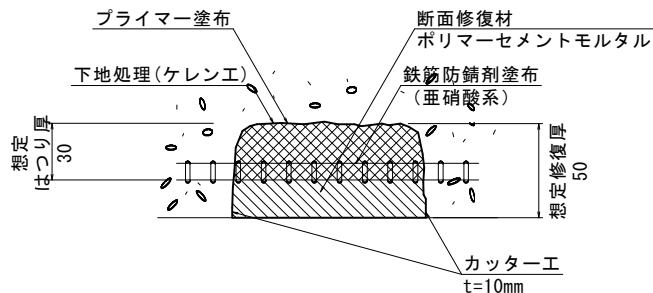
断面修復工
(左官工法)

左官工法
(鉄筋防錆処理有)
NonScale

橋面平面図
S=1:100

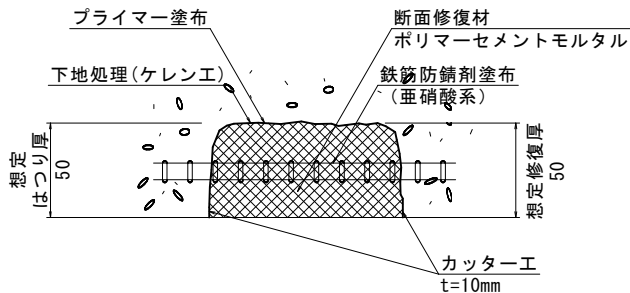


(鉄筋露出部)



- 【注記】
- 断面修復材の品質は、強度・材質が既設コンクリートと同等の材料とする。
 - 劣化位置の外周にコンクリートカッターで切れ目を入れ、断面修復時にフェザーエッジにならないよう端部形成を行うこと。
 - 損傷箇所のうき・剥離部・脆弱部をはつり取った上、鉄筋の裏側まで十分にはつり出し鉄筋の錆を落とし、清掃および防錆の塗布を行った後に断面を修復すること。
 - 修復厚を明記しているが修復材は確実に損傷最深部まで充填すること。
 - 純かぶりが極端に薄い箇所においては、修復時に鉄筋かぶりを1・D(D=鉄筋径)以上確保するように修復すること。

(うき・剥離部)

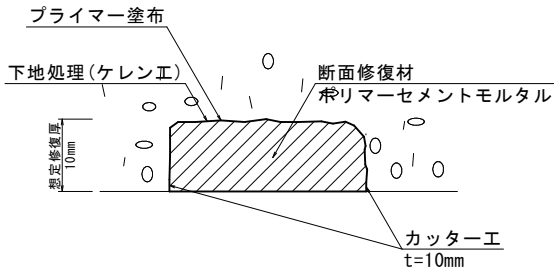


- 【注記】
- 断面修復材の品質は、強度・材質が既設コンクリートと同等の材料とする。
 - 劣化位置の外周にコンクリートカッターで切れ目を入れ、断面修復時にフェザーエッジにならないよう端部形成を行うこと。
 - 損傷箇所のうき・剥離部・脆弱部をはつり取った上、鉄筋の裏側まで十分にはつり出し鉄筋の錆を落とし、清掃および防錆の塗布を行った後に断面を修復すること。
 - 修復厚を明記しているが修復材は確実に損傷最深部まで充填すること。
 - 純かぶりが極端に薄い箇所においては、修復時に鉄筋かぶりを1・D(D=鉄筋径)以上確保するように修復すること。

左官工法

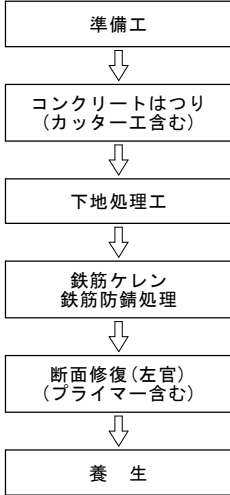
(鉄筋防錆処理無)
NonScale

(地覆剥離部)



- 【注記】
- 断面修復材の品質は、強度・材質が既設コンクリートと同等の材料とする。
 - 劣化位置の外周にコンクリートカッターで切れ目を入れ、断面修復時にフェザーエッジにならないよう端部形成を行うこと。
 - 損傷箇所のうき・脆弱部をはつり取った上、清掃を行った後に断面を修復すること。

施工手順フロー(参考)



: コンクリートはつり

: 断面修復(左官)

(鉄筋露出部)

箇所	縦(m)	横(m)	修復深(m)	立積(m3)	箇所	縦(m)	横(m)	修復深(m)	立積(m3)
主 桁					主 桁				
1- 1	0.25	1.50	0.05	0.019	1-18	0.20	0.40	0.05	0.004
1- 2	0.30	1.00	0.05	0.015	1-19	0.55	0.20	0.05	0.006
1- 3	0.20	0.10	0.05	0.001	小 計				0.076
1- 4	0.10	0.10	0.05	0.001	横 桁				
1- 5	0.20	0.40	0.05	0.004	1-20	0.20	0.40	0.20	0.016
1- 6	0.10	0.10	0.05	0.001	1-21	0.15	0.15	0.05	0.001
1- 7	0.10	0.10	0.05	0.001	1-22	0.45	0.25	0.05	0.008
1- 8	0.10	0.10	0.05	0.001	1-23	0.30	0.40	0.05	0.006
1- 9	0.15	0.15	0.05	0.001	1-24	0.10	0.40	0.05	0.002
1-10	0.25	0.15	0.05	0.002	1-25	0.50	0.75	0.10	0.038
1-11	0.10	0.25	0.05	0.001	小 計				0.071
1-12	0.25	0.25	0.05	0.003	A2橋台				
1-13	0.10	0.10	0.05	0.001	1-26	0.10	0.10	0.05	0.001
1-14	0.45	0.15	0.05	0.003	小 計				0.001
1-15	0.45	0.20	0.05	0.005	合 計				
1-16	0.30	0.20	0.05	0.003					0.148
1-17	0.35	0.25	0.05	0.004					

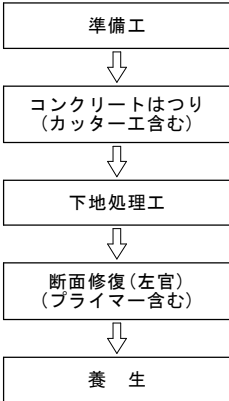
(うき・剥離部)

					横 桁				
箇 所	縦 (m)	横 (m)	修復 深 (m)	立積 (m3)	箇 所	縦 (m)	横 (m)	修復 深 (m)	立積 (m3)
主 桁					主 桁				
2- 1	0.10	0.10	0.05	0.001	2-22	0.20	0.20	0.05	0.002
2- 2	0.15	0.10	0.05	0.001	2-23	0.20	2.80	0.05	0.028
2- 3	0.10	0.25	0.05	0.001	2-24	0.40	0.10	0.05	0.002
2- 4	0.20	0.50	0.05	0.005	2-25	0.45	0.25	0.05	0.006
2- 5	0.15	0.50	0.05	0.004	2-26	0.40	0.10	0.05	0.002
2- 6	0.10	0.30	0.05	0.002	2-27	0.50	0.20	0.05	0.005
2- 7	0.20	0.35	0.05	0.004	2-28	0.10	0.20	0.05	0.001
2- 8	0.20	0.50	0.05	0.005	2-29	0.15	0.10	0.05	0.001
2- 9	0.10	0.10	0.05	0.001	2-30	0.50	0.20	0.05	0.005
2-10	0.30	3.00	0.05	0.045	小 計				0.149
2-11	0.10	0.35	0.05	0.002					
2-12	0.15	0.30	0.05	0.002	防 護 柵				
2-13	0.10	0.40	0.05	0.002	2-31	0.10	0.10	0.05	0.001
2-14	0.35	0.90	0.05	0.016	2-32	0.10	0.20	0.05	0.001
2-15	0.15	0.30	0.05	0.002	2-33	0.10	0.20	0.05	0.001
2-16	0.15	0.40	0.05	0.003	2-34	0.20	0.10	0.05	0.001
2-17	0.10	0.35	0.05	0.002	2-35	0.20	0.15	0.10	0.002
2-18	0.15	0.25	0.05	0.002	2-36	0.15	0.10	0.10	0.001
2-19	0.10	0.35	0.05	0.002	2-37	0.15	0.10	0.05	0.001
2-20	0.10	0.10	0.05	0.001	2-38				0.001
2-21	0.15	0.10	0.05	0.001					
合 計					0.158				

(地覆剥離部)

箇所	縦(m)	横(m)	修復深(m)	立積(m3)
地 覆				
3- 1	0.20	0.20	0.10	0.04
3- 2	0.20	0.30	0.10	0.06
合 計				0.01

施工手順フロー(参考)



起 工 R8現年

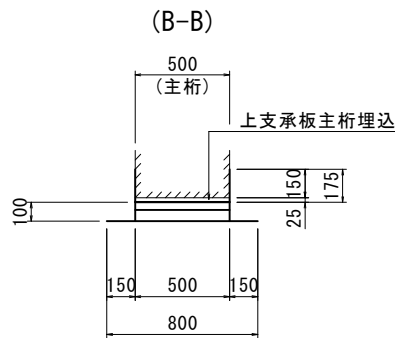
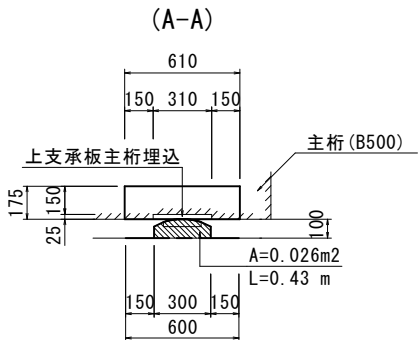
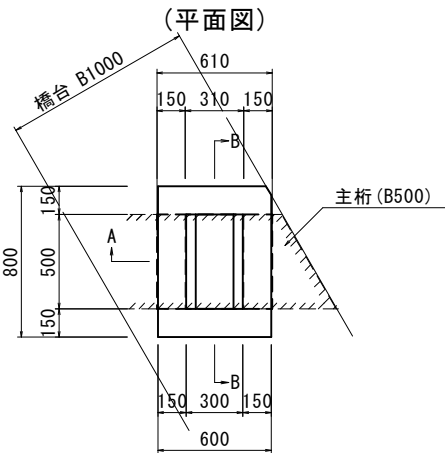
路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修計画図（4/10）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 11		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

支 承 防 錆 工

(支 承 塗 替 え 工 法)

鋼 製 支 承 防 錆 工

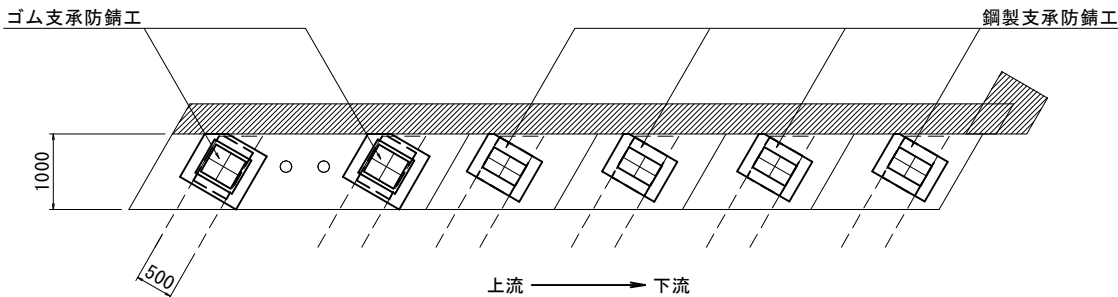
(G1～G4桁) S=1:20



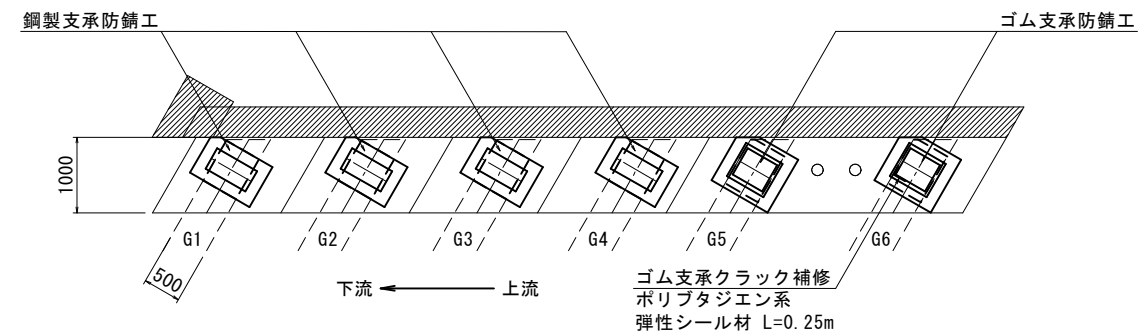
材 料 表		1箇所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
素地調整	3種ケレン	m2	1. 12
下地処理工	浸透性錆進行抑制型 蛍光防水処理剤	m2	1. 12
下塗り工	耐塩害性防錆防水型 クリア樹脂材	m2	1. 12
上塗り工	耐塩害性防錆防水型 クリア樹脂材トップコート	m2	1. 12

※クリスタルジュエリー同等品以上

A1橋台平面図



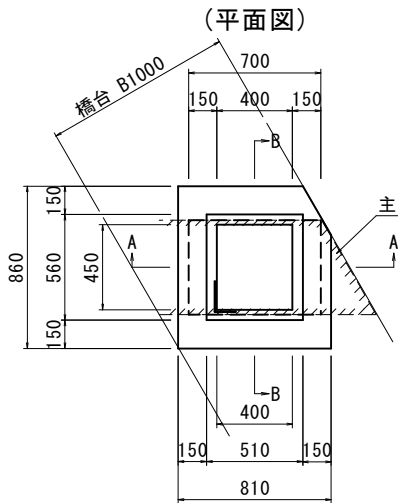
A2橋台平面図



ゴ ム 支 承 防 錆 工

(G5～G6桁) S=1:20

※ゴム支承クラック補修施工後に施工すること



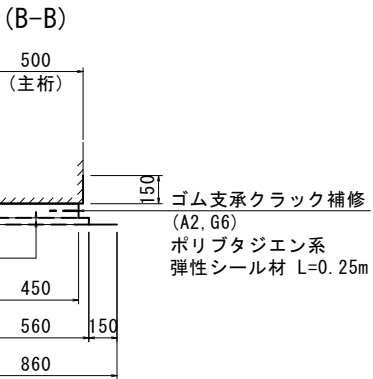
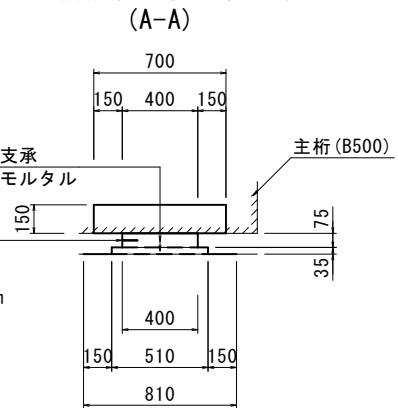
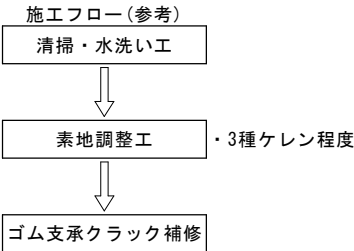
ゴム支承クラック補修
(A2, G6)
ポリブタジエン系
弾性シール材 L=0. 25m

材 料 表		1箇所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
下地処理工	ゴム面用下地処理材	m2	1. 14
下塗り工	耐塩害性防錆防水型 クリア樹脂材	m2	1. 14
上塗り工	耐塩害性防錆防水型 クリア樹脂材トップコート	m2	1. 14

※クリスタルジュエリー同等品以上

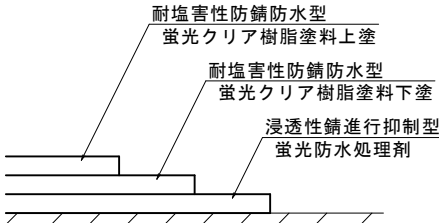
ゴ ム 支 承 ク ラ ッ ク 補 修

※ゴム支承防錆工施工前に施工すること



支 承 塗 替 え 工 法

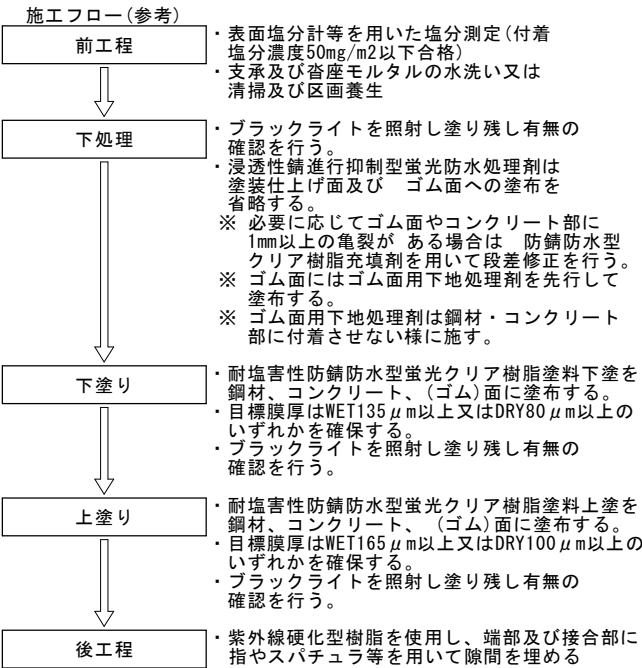
(錆進行抑制防水型蛍光クリア樹脂防食塗装システム)
NonScale



鋼材面：素地調整 3種ケレン程度以上
(必要に応じて中性型水計剥離剤ECOを用いた塗膜除去工を併用)

コンクリート面：サンダー等による素地調整

ゴム面：スコッチブライト(#320相当)等による
目荒らしケレン程度の素地調整

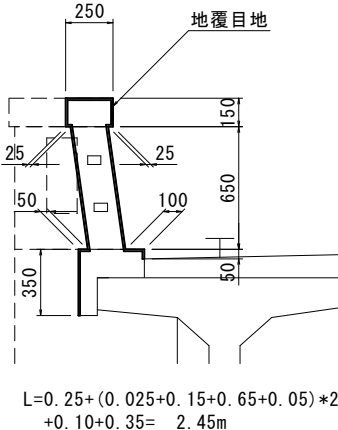


起 工	R 8 現 年
路線名	県道津山智頭八東線
橋梁補修工事 (大呂橋)	
図 名	補修計画図 (5/10)
位 置	八頭郡智頭町大呂
縮 尺	図示 単 位 MM
図 号	全 17 葉中の内 12
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所	

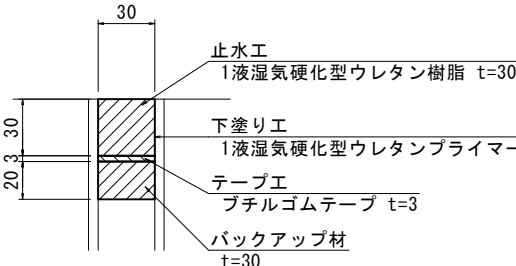
伸縮装置補修工

地覆目地部断面図

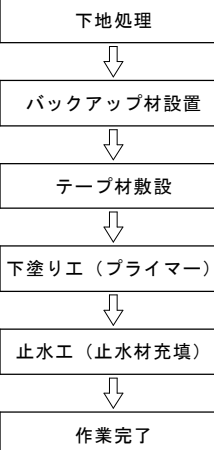
S=1 : 20



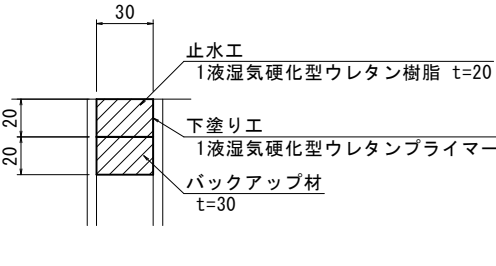
伸縮装置目地止水工
(W30 × H30) S=1:



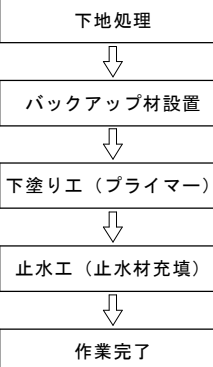
施工手順フロー(参考)



地覆目地補修工
(W30 × t20) S=1:2

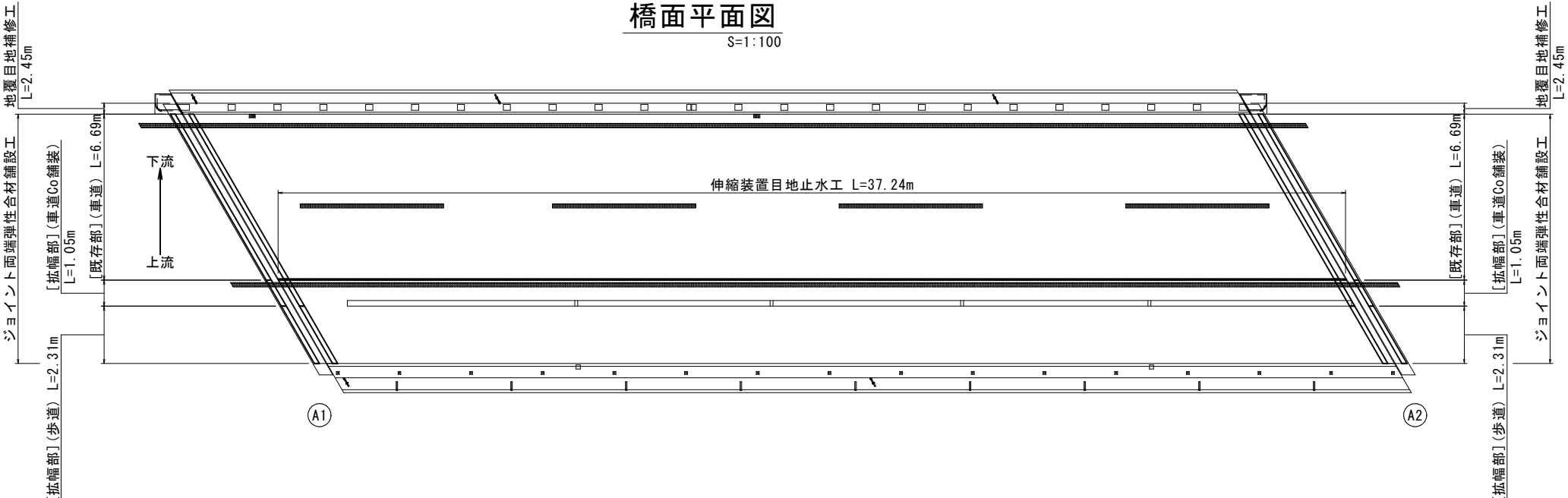


施工手順フロー(参考)

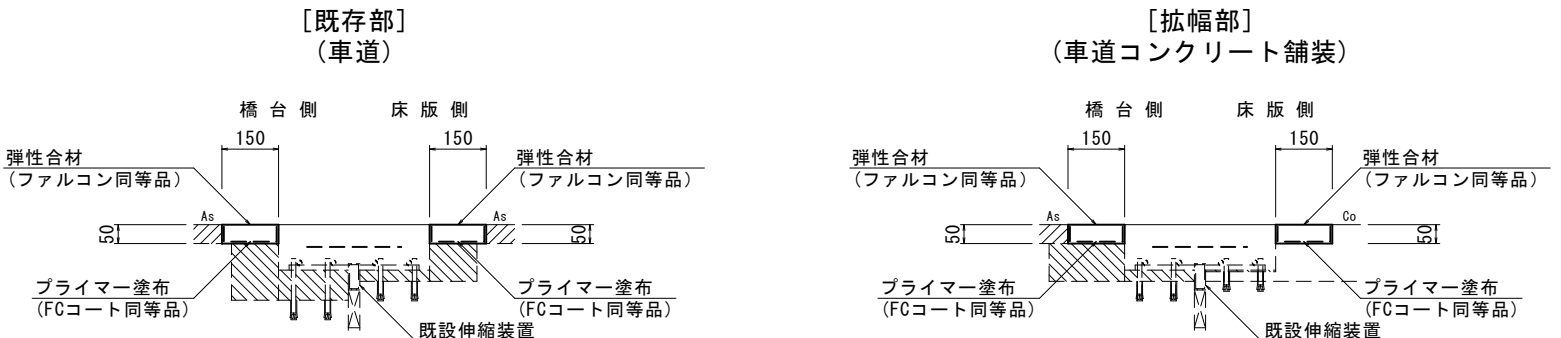


橋面平面図

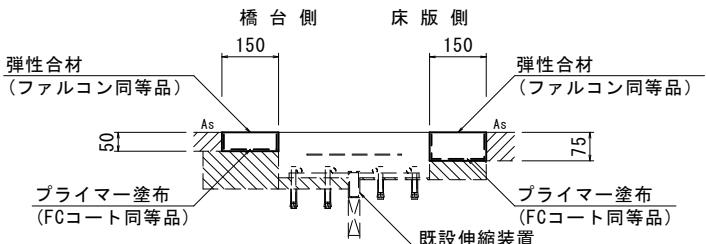
S=1 : 100



ジョイント両端弾性合材舗設工



[拡幅部]
(歩道)



材 料 表 [拡幅部] (歩道) 10m当り

名 称	規 格	単位	数 量
プライマー	FCコート同等品	L	0.36
弾性合材	ファルコンSJ-FE同等品	kg	0.07

材 料 表

[既存部] (車道)	
[拡幅部] (車道コンクリート舗装)	10m当り

名 称	規 格	単位	数 量
プライマー	FCコート同等品	L	0.36
弾性合材	ファルコンSJ-FE同等品	kg	0.07

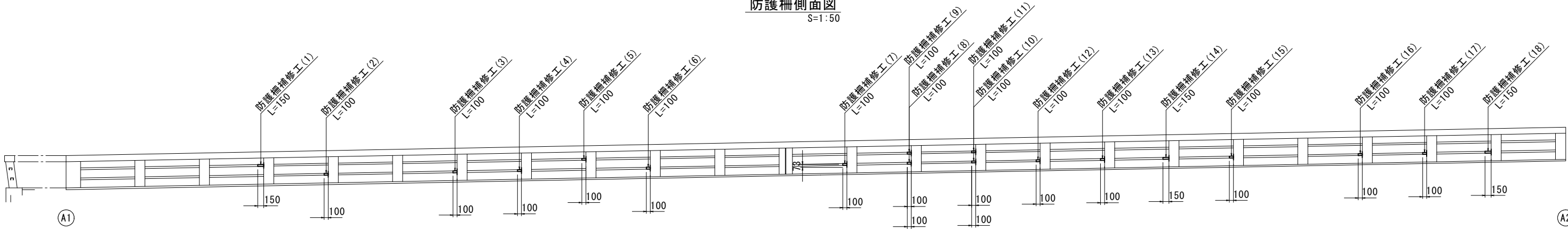
起 工 R 8 現年

路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修計画図（6/10）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 13		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2) 既設伸縮装置は、埋設ジョイント。

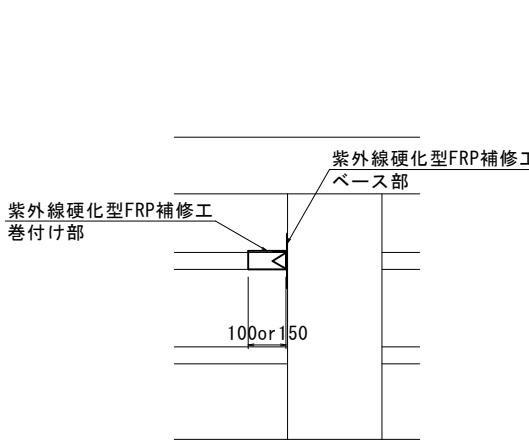
防護柵補修工
紫外線硬化型FRP補修工

防護柵側面図
S=1:5

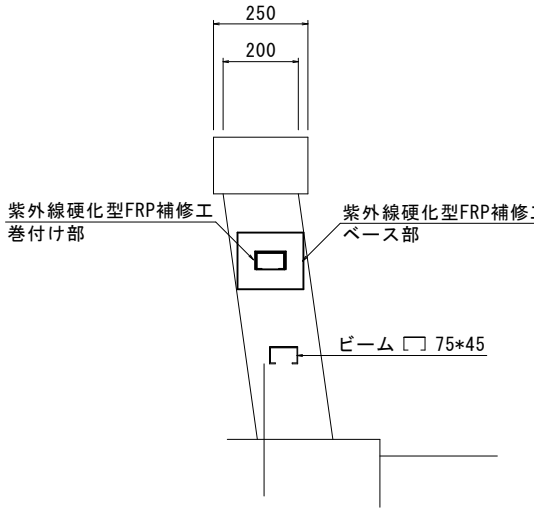


紫外線硬化型FRP補修工

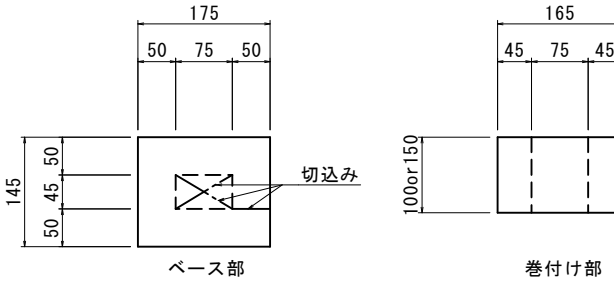
(防護柵側面図)
S=1:1



(防護柵断面図)
S=1:1

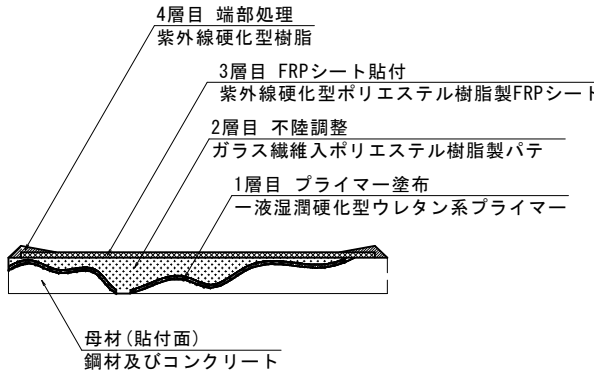
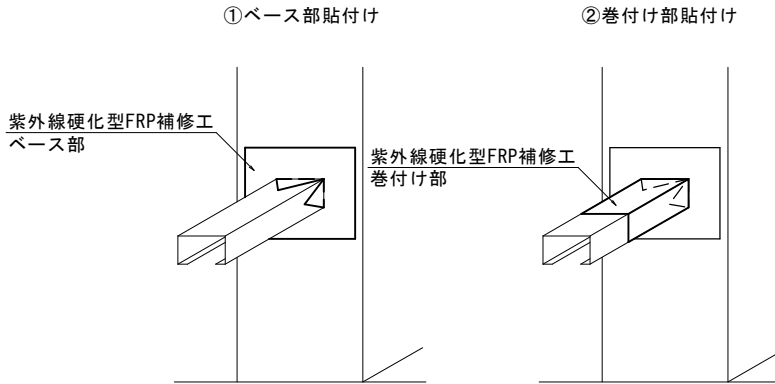


(加工図)
S=1:5

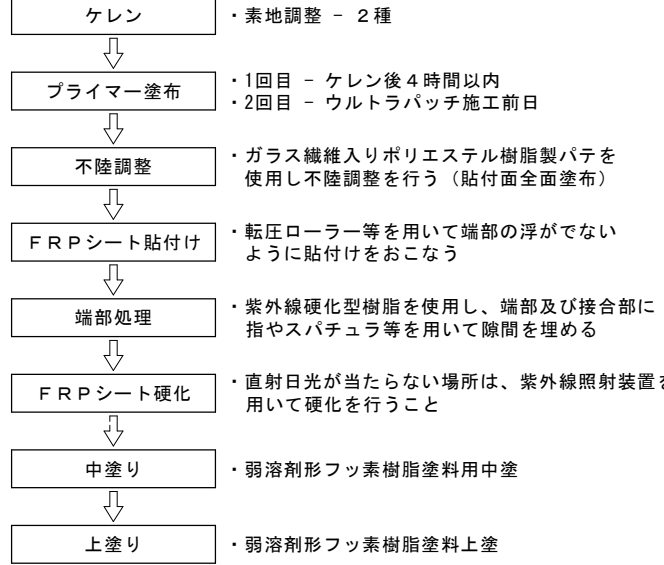


(一般図)
NonScale

(施工手順模式図)
NonScale

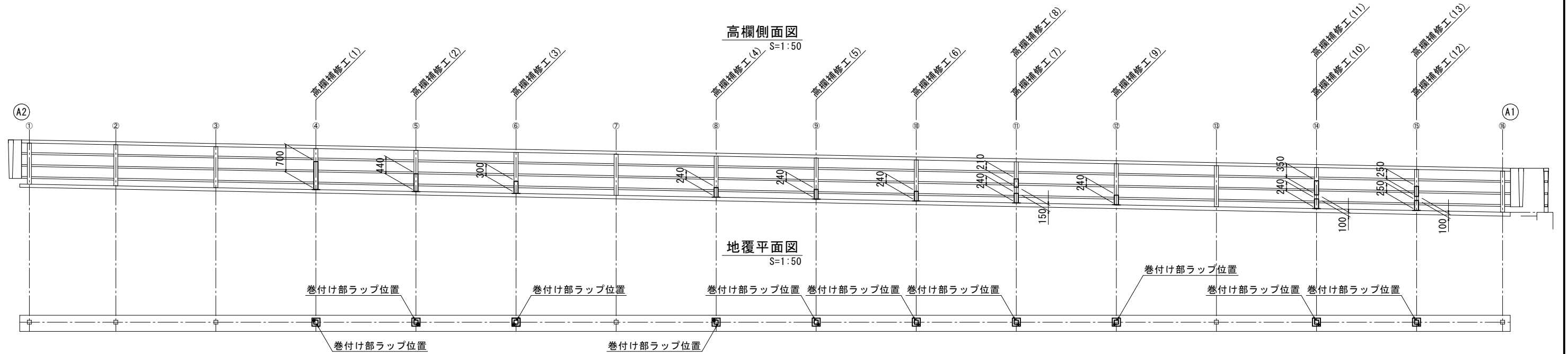


施工フロー(参考)



起 工		R 8 現年	
路線名		県道津山智頭八東線	
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名		補修計画図（7/10）	
位 置		八頭郡智頭町大呂	
縮 尺		図示	単 位 MM
図 号		全 17 葉中の内 14	
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

高欄補修工
紫外線硬化型FRP補修工

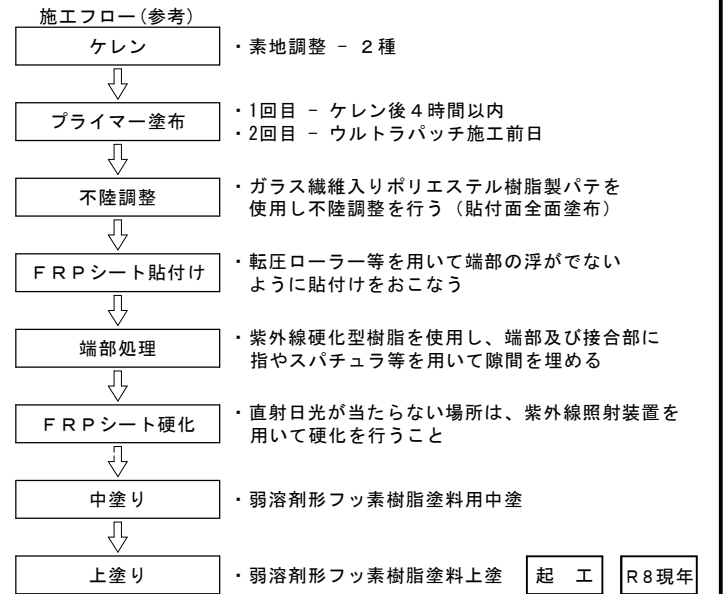
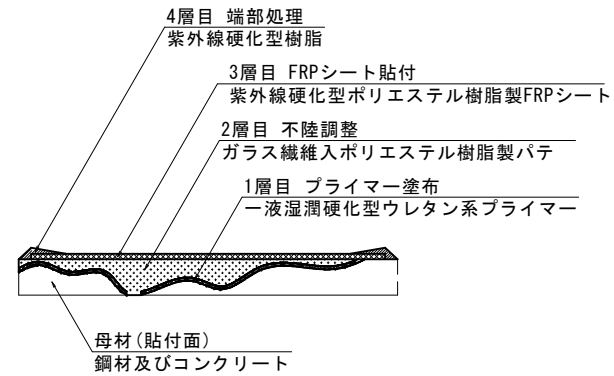
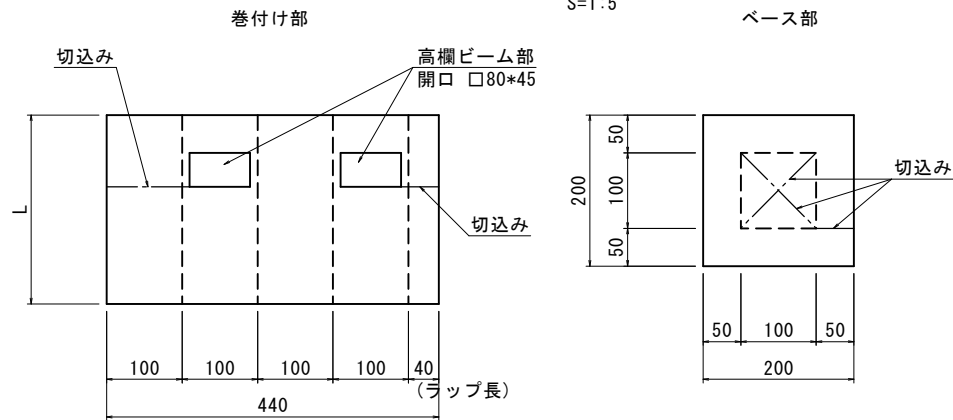
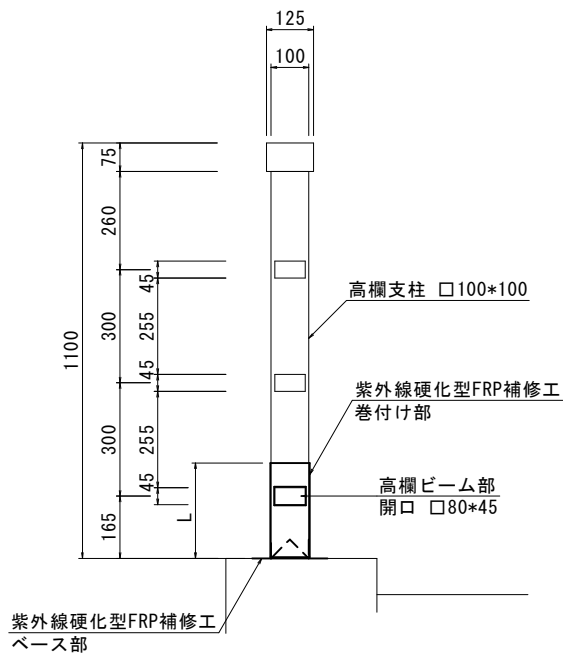


紫外線硬化型FRP補修工

(側面図)
S=1:10

(シート展開図)
S=1:5

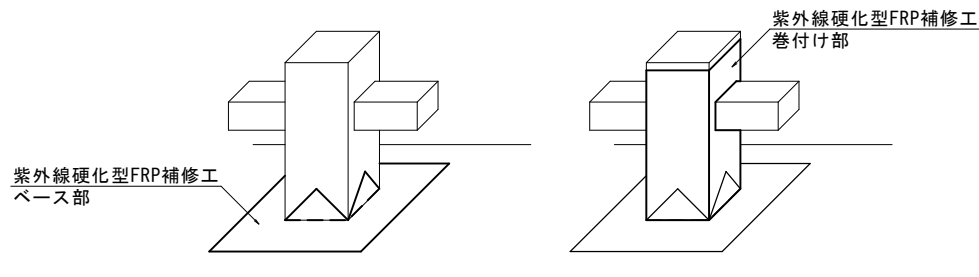
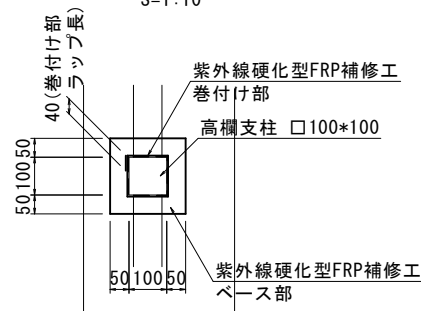
(一般図)
NonScale



(施工手順模式図)
NonScale

①ベース部貼付け ②巻付け部貼付け

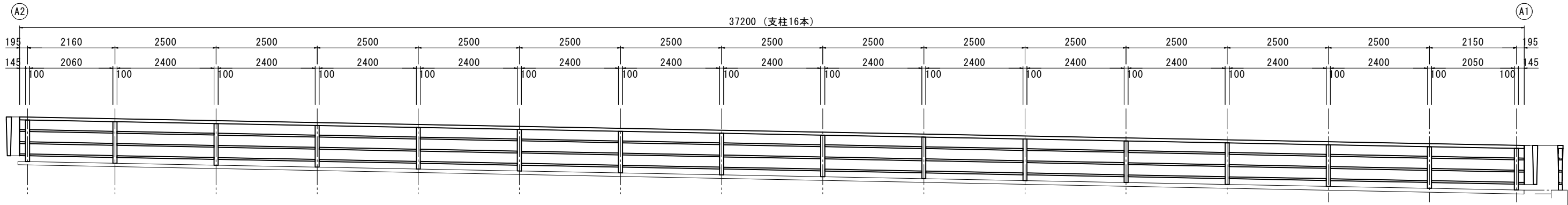
(平面図)
S=1:10



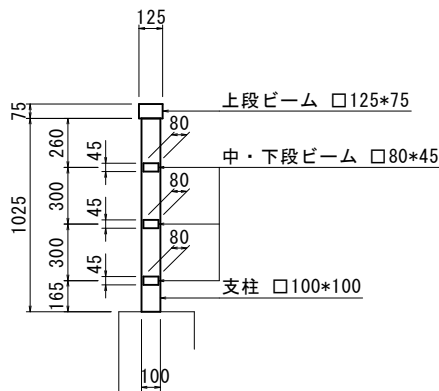
路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修計画図（8/10）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 15		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

高欄補修工
塗替え塗装工

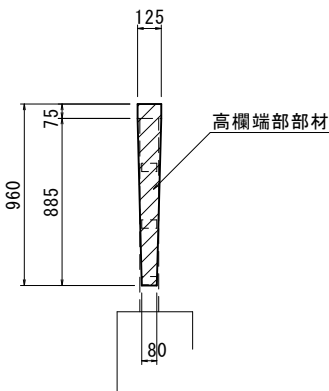
高欄側面図



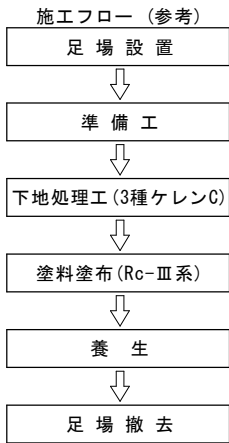
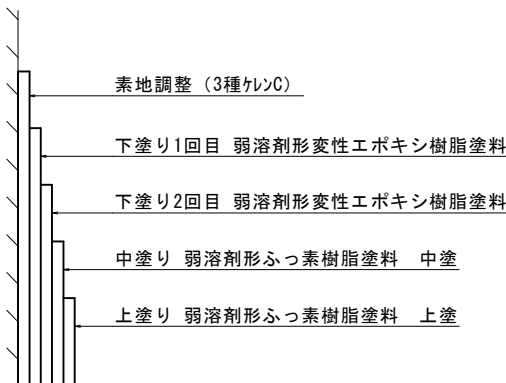
高欄一般部
S=1:20



高欄端部
S=1:20



塗替え塗装工
(刷毛・ローラー)
NonScale



注記)

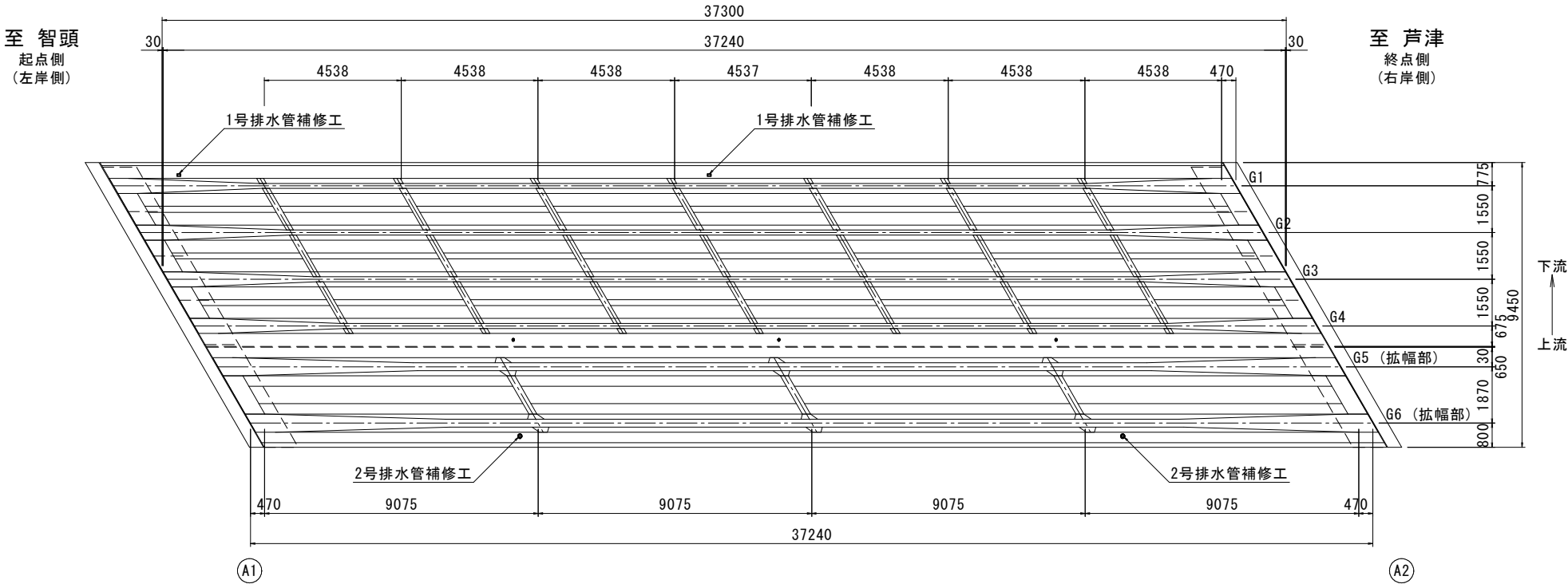
- 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
- 狭隘部の塗膜除去、素地調整、塗装等の施工方法については、発注者と協議を行うこと。
- 素地調整は湿式工法（塗膜剥離剤塗布）とし、吸塵式ディスク・サンダー等の電動工具と手工具を併用し、粉じん対策を考慮しながら塗膜除去を行う。
- 塗装は刷毛およびローラーを用いる。

起 工		R 8 現年	
路線名		県道津山智頭八東線	
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名		補修計画図（9/10）	
位 置		八頭郡智頭町大呂	
縮 尺		図示	単 位 MM
図 号		全 17 葉中の内 16	
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

排水管補修工

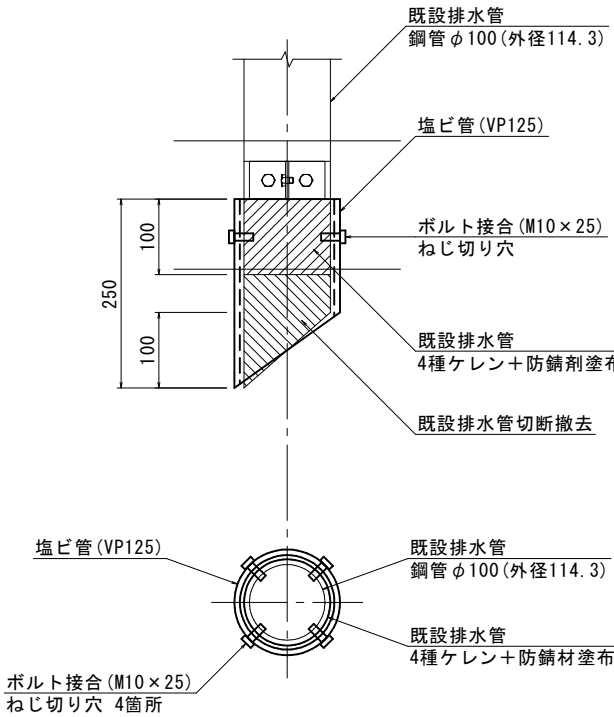
桁下平面図

S=1:100



2号排水管補修工

S=1:5

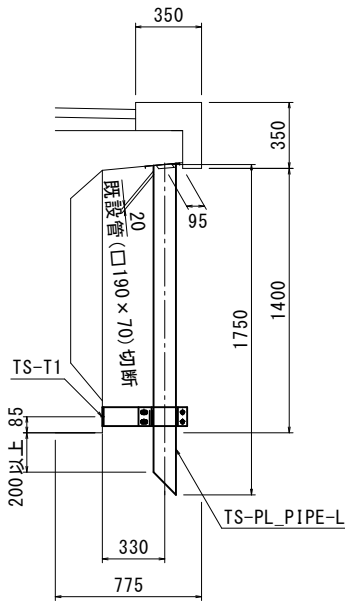


1号排水管補修工

TSステンレス排水装置

(断面図)

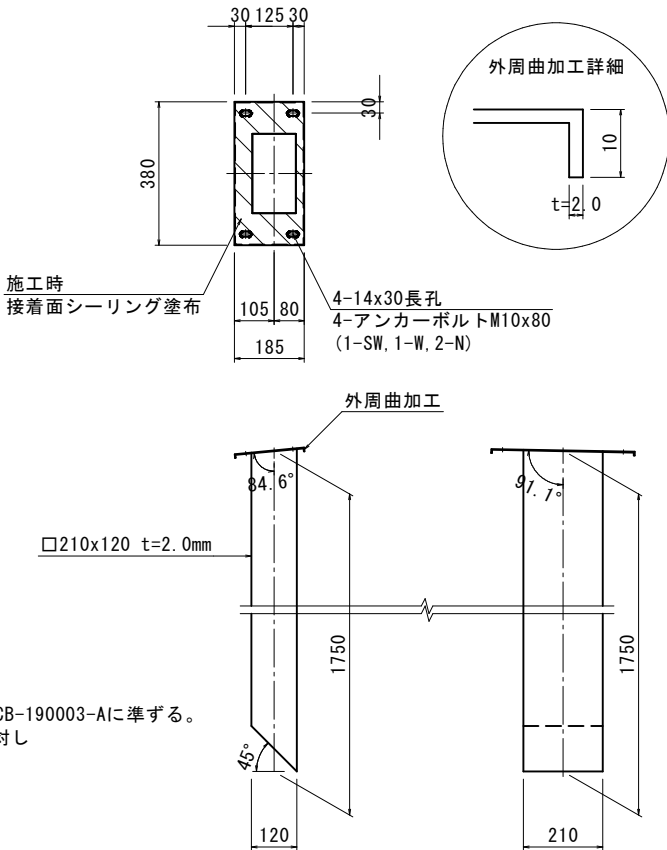
S=1:20



(天板プレート一体型排水装置)

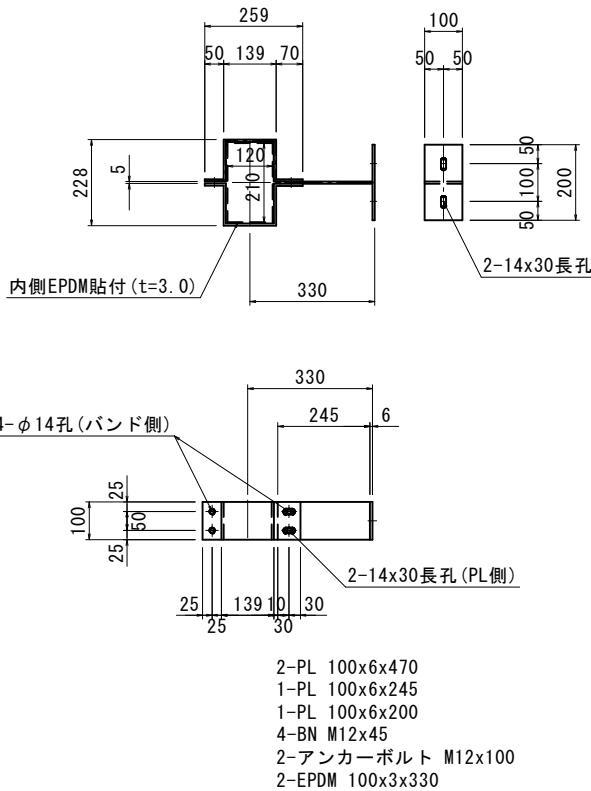
TS-PL_PIPE-L 製作数=2 S=1:10

NETIS No. CB-190003-AIに準ずる



(取付金具詳細図)

TS-T1 製作数=2 S=1:10



材 料 表

1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
極小規模ガス切断 切削仕上げ工	条件区分が1つ0.36m 6mm≦t≦10mm 桁外面	m	0.36
素地調整剤塗布	サビシャット同等品以上 4種ケレン素地調整含む	m2	0.07
排水管設置	ボルト接合 φ10穴開 タップ加工含む	本	1

材 料 表

1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
天板プレート型 排水装置	TS-PL_PIPE-L SUS304 t2.0×120×210, L=1750 M107アンカーボルト, シール材含む	基	1
取付金具	TS-T1 SUS304 L=330 M127アンカーボルト, EPDM含む	組	1
極小規模ガス切断 切削仕上げ工	条件区分が1つ0.52m 6mm≦t≦10mm 桁外面	m2	0.52
コンクリート アンカーボルト設置	足場なし 材料費は別途計上	本	6
排水装置設置	取付金具設置含む	組	1

- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し
耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

起 工 R8現年

路線名	県道津山智頭八東線		
橋梁補修工事（大呂橋）			
図 名	補修計画図（10/10）		
位 置	八頭郡智頭町大呂		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 17 葉中の内 17		
令和 8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			